

新春特集

**2020.1
No. 153**

あきた建築士会ニュース



美郷町 佐藤家蔵「飛翔館」

一般社団法人 秋田県建築士会

美郷町 佐藤家蔵「飛翔館」

仙北建築士会

佐藤家は、萩澤地区に所在し江戸時代から続く大地主でした。黎明期の日本航空界で優れた業績を残した秋田初の民間パイロット・佐藤彰（要蔵）の生家でもあり、一族は県議会議員や村長、村会議員なども務めた名家です。

この度、佐藤家の遺族の方より土蔵や土蔵内に残る資料が美郷町に寄贈されました。この歴史ある土蔵を宿泊交流館ワクアス敷地内へ、平成 28 年から令和元年 8 月まで、4 年間で移築工事が行われました。



窓扉



窓扉



前室の入口扉



本室の入口扉



棟札



破魔矢

(P71 へ続く)

目次

新年を迎えて	新年のご挨拶……………一般社団法人秋田県建築士会会長 淡路孝次… 2
	年頭のごあいさつ……………秋田県建設部長 小林賢太郎… 3
	年頭のごあいさつ……………秋田県建設部建築住宅課長 伊藤和博… 4
建築士大会	第44回一般社団法人秋田県建築士会大会 秋田中央大会 …… 5
	主催者あいさつ…………… 6
	青年委員長あいさつ…………… 7
	歓迎のあいさつ…………… 8
	◇フォーラム…………… 9
	◇総評……………10
優良建築物見学会	令和元年度 優良建物見学会……………11
地域貢献活動	親子体験学習「気持ちのいい家つくろう」in 横手 ……14
投稿だより	あきたの魅力・由利の魅力 再発見……………16
	「令和元年度 東北ブロック会女性委員会 視察・見学会 IN あきた」に参加して ……17
全国大会	北海道大会報告
	……………湯沢雄勝建築士会 会長 佐藤隆志…19
	……………能代山本建築士会 会長 大高 勇…20
	……………(一社)秋田県建築士会 理事 小原正明…23
	……………(一社)秋田県建築士会 理事 工藤博臣…27
	……………(一社)秋田県建築士会 青年委員長 草薙 渉…32
	……………(一社)秋田県建築士会 女性副委員長 清水川 道子…36
会務報告	……………39
地域会だより	……………40
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ……………44
誌上年賀	……………45
事務局だより	……………65
編集後記	……………70

新年のご挨拶



一般社団法人 秋田県建築士会会長 淡路 孝次

令和2年明けましておめでとうございます

令和になって初めてのお正月。旧年中は天皇陛下ご即位の一連の儀式を画面を通して拝見し、日本の歴史や和風文化について改めて考える機会を得ることができました。特に大嘗祭の祭祀を拝見すると、長い歴史に裏付けされた日本の文化・様式を感じることができ、またその祭祀を執り行う祭殿建築についても興味深く拝見し、日本人として心を動かされた出来事でした。

ところで、旧年中は大型台風による風害や水害が全国で広範囲にしかも繰返し発生し、多くの都道府県で現在もお復旧されず、多くの被災者が仮設状況に置かれています。このような災害は今後毎年起こるかもしれないとの推測もある中、生活インフラといえる住環境に係る我々建築士は、このような状況に今後どう向き合い対応すべきなのか考えさせられました。

日本建築士会連合会でも全国の建築士会の対応状況や資料を収集し、またそれらの資料を全国の単位士会に配布するなどしながら連合会としての対応について模索中のようにあります。

国レベルでも、設計基準値の見直し等、風害に対しては早速強化する方向のようであります。しかし昨年のような水害については建築単独で対応できる内容では無いから関係官庁・業界の連携による対応が急がれるように思っております。

秋田県建築士会事業については、旧年中皆さんの協力のもとつつがなく事業遂行できました。6月の総会以降7月には建築士試験、9月には約80名の参加を得て函館大会に参加、10月には女性委員会、HMスキルアップ講座、11月の全県大会と例年通り事業遂行され、少しずつではあるが活性化してき

ていると感じることができました。

その中でも函館大会に多くの仲間が参加されたことは、本年11月開催の広島大会で大会旗引継ぎに向けて弾みのつく出来事でした。いずれ新年度早い時期に秋田大会骨子を決め、全国に配布知らしめることが必要であります。また我々自身も秋田大会に向け準備のスピードを加速させることが必要であります。特に実行委員会としてそれぞれの役割で全体計画とすり合わせをしながらの自立行動が大会に向けてより重要となると思っております。それぞれの地域を全国に発信するためにも会員の積極的な参加を期待しております。

昨年の年頭の挨拶でHMが秋田県中央エリアでも取り組めるよう活動すると申し上げました。昨年度まで秋田県南部と北部でHM養成がなされてきておりますが、中央部ではまだ実行されておられません。秋田県内の均衡あるまちづくりには中央地域での養成も必須と考えており、昨年12月には準備委員会を開催したところであります。全国大会秋田大会開催時に開催されるHM総会に活動状況を報告できれば、秋田を全国に発信する一つの大きな機会となりますし、積極的に前に進めようと思っております。

会員にとって、より必要と思ってもらえる建築士会を目指し、本年も活動してまいります。会員諸氏からの忌憚のない意見と参加が何より必要であります。そのことによってのみ、建築士会の地位向上と、建築のプロとして地域貢献が果され、結果地域で活動する建築士として生業が成り立つものと考えております。

会員諸氏にとって本年がより良い年であること、また県内各地に災害の起こらない年であることを祈念し、年頭の挨拶と致します。

年頭のごあいさつ



秋田県建設部長 小林 賢太郎

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県建設行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、人口減少の克服を最重要課題と位置づけた県政の運営指針「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、広域道路ネットワークの形成や港湾機能の強化など、産業振興や交流人口の拡大等に繋がる社会資本を整備するとともに、災害に備えた強靱な県土づくりに取り組んでおります。

特に、県内の高速道路は、昨年3月、秋田自動車道「湯田IC～横手IC」のうち約7.7kmの暫定2車線の4車線化が事業化となり、9月には「北上JCT～大曲IC」間が優先整備区間として選定されるなど、本県経済の活性化に向け大きく弾みがついたところであります。

引き続き、県内に残る3カ所のミッシングリンクの全線開通と4車線化の早期実現に向けた国への働きかけを強化するとともに、県施工である「鷹巣西道路」について令和2年度の供用開始に向けて重点的に整備を進めてまいります。

また、港湾関係では、今年、クルーズ船が過去最高の寄港回数となる見込みであり、インバウンド誘客の拠点としても期待されることから、引き続き、官民一体となった誘致活動やクルーズ船の受入環境の充実化を図るとともに、洋上風力発電の導入のため、再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定に向けた取組を進めてまいります。

昨年は、台風19号等の影響により東日本の太平洋側等を中心に甚大な被害が生じており、当県においても、近年、度重なる豪雨被害に見舞われていることから、河川の再度災害防止に向けた改良復旧事業の早期完成を目指すとともに、「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」の取組を加速し、県民の安全・安心の確保に向けて、ハード・ソフト両面での対策を講じてまいります。

さて、本県の人口は、全国のすう勢を上回るペースで減少しており、昨年、総務省から発表された住民基本台帳に基づく人口動態調査においても、全国で最も高い人口減少率が示されるなど、人口減少に対する取組の強化が喫緊の課題となっております。

「住宅リフォーム推進事業」においても、少子化対策の一環としての子育て世帯への住宅支援を拡充し、令和元年度からは秋田への人の流れづくりとしての移住・定住世帯への住宅リフォーム支援を新設するなど、県の重要課題に即した制度改正を行ってまいりました。今後も安全・安心で良質な住宅ストックの形成に努めてまいります。

また、地域コミュニティや公共サービスの維持に加え、人口減少社会に対応した社会システムの構築や新たなまちづくり・地域づくりを進めていく必要がありますが、これらの社会資本の整備や維持管理を下支えする地域の建設業は、担い手確保が喫緊の課題となっていることから、秋田県建設産業担い手確保育成センターを中心として、建設産業の魅力発信や女性活躍ネットワークの構築、全国随一となるICT研修拠点の活用など、建設人材の確保・育成の推進や生産性向上に向けた取組を進めてまいります。

建築士法の改正により今年から建築士試験の受験資格が緩和され、建築士を目指す若手技術者の受験機会が拡大されます。建築物の安全性の確保等において重要な役割を担う建築士人材の継続的、安定的確保につながることを期待しております。

今後も、本県が将来にわたり持続的に成長していくため、経済活動や住民生活の基盤となる社会資本を整備するとともに、活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくりなどに全力で取り組んでまいります。

結びに、秋田県建築士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



秋田県建設部建築住宅課長 伊藤 和博

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、会員の皆様方には、日頃より県の建築・住宅、まちづくり行政の推進に、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

我が国では近年、これまでに経験したことのない大規模な災害が多発しており、列島を直撃した昨年の台風19号などでは、記録的な大雨による堤防の決壊が相次ぎ、東日本各地にこれまでに無かったほどの甚大な被害がもたらされました。

本県でも、昨年一昨年と県南部を中心に度重なる集中豪雨による決壊被害があり、今でも災害復旧の途上にあります。頻発・激甚化する災害に対する備えは、全国各地において喫緊の課題となっています。そのため、県では国土強靱化のための防災・減災対策「3カ年緊急対策」に重点的に取り組んでおり、今後も含めて強靱な県土づくりの推進と県民の安全・安心のための社会資本の整備に一層努めていくこととしているところです。

建設産業は、社会資本整備の担い手として地域の経済や雇用に欠かすことのできない重要な産業ですが、労働者の高齢化と若年入職者の減少が進み将来を担う人材の確保・育成が喫緊の課題となっています。

土木業界においては現場等における週休二日制の定着やICT技術の活用など、働きやすい建設労働環境づくりで人材確保に繋げて行こうとする動きが官民連携の下で積極的に進められていますが、建築業界においては官の役割も限られておりこの分野での取組は弱いと言わざるをえません。

そんな中でも、建築士法の改正により建築士資格に係る要件が見直され、実務経験の取扱がこれまでの受験資格要件から免許登録要件に変更されること

になったことから、新卒者の受験機会の拡大など建築士人材の減少に歯止めが期待されるころでもあり、この機会を若手人材の県内定着へと繋げるべく官民一体となった業界の魅力づくりが必要であると考えております。

一方昨年の台風19号では、設計製図の試験が被災県で中止・再試験となり、合格発表も先送りされるなど大きな混乱が生まれました。地球規模で進展する異常気象・温暖化に対して、建築物省エネ法の改正により省エネ基準適合義務化対象の300㎡への拡大、住宅新築時における建築士による性能の説明義務化など、様々な部門で一層の対策強化が図られることになりました。

今後、政省令・告示・指針の改正・制定などが予想されることから、効果的な施策の実現のため適切な周知と体制づくりに努めて参りますので、会員の皆様におかれましては引き続きかつこれまで以上にご協力をお願いいたします。

さて、今年は楽しみな東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。そしていよいよ来年10月には第64回全国建築士大会が秋田市で開催されます。全国各地から集いし2千を超える建築士のホスト役を担われる建築士会の皆様には、その栄誉をお祝いするとともに、重責に対し心から敬意を表します。

来る全国大会においては、来県される方々との交流を通して、本県の魅力と優れた建築文化を大いに発信し、会員の皆様にとっても実り多い大会になりますことを祈念申し上げますとともに、結びに、一般社団法人秋田県建築士会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝ご活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

第44回 一般社団法人 秋田県建築士会大会 秋田中央大会 秋田の魅力 再発見。



◇と き：令和元年 11月16日（土）
 ◇と ころ：パーティーギャラリーイヤタカ
 主催 一般社団法人 秋田県建築士会
 共催 一般社団法人 秋田県建築士会青年委員会
 主管 秋田中央建築士会
 後援 秋田市

参加者：98名

16日（土）

- 13:00～13:30 受付
- 13:30～14:00 式典 ……………司会 樋渡 裕輔
1. 開会
 2. 会長挨拶 ……………（一社）秋田県建築士会 会長 淡路 孝次
 3. 青年委員長挨拶 ……………（一社）秋田県建築士会青年委員長 草薙 涉
 4. 来賓紹介
 5. 来賓挨拶 ……………秋田県議会議員 今川 雄策 様
 ……………秋田県建設部建築住宅課長 伊藤 和博 様
 6. 閉会
- 14:15～15:30 記念講演
 「都市の風景とまちのディテール
 ～秋田における市街地木質化の事例を通して～」
 ……………秋田公立美術大学 教授 小杉栄次郎 様
- 15:50～17:00 トークセッション「あきたの魅力とは？」
 ……………福祿寿酒造株式会社 代表取締役 渡邊 康衛 様
 ……………株式会社せん 松岡 叡美 様
 コーディネーター ……………秋田中央建築士会青年部会長 能上 崇
- 17:30～ 懇親会 ……………司会 佐々木 展
1. 開会
 2. 歓迎の挨拶 ……………秋田中央建築士会 会長 田仲 雅美
 3. 来賓紹介
 4. 来賓挨拶 ……………秋田県建設部長 小林賢太郎 様
 ……………秋田市都市整備部長 根田 隆夫 様
 5. 乾杯 ……………秋田県秋田地域振興局建設部長 佐藤 春浩 様
 6. アトラクション ……………あきた舞妓（舞妓2名、芸妓1名）
 7. 大会旗伝達 秋田中央建築士会 → 由利建築士会
 8. 決意表明
 9. 中締め
 10. 閉会

主催者あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会会長 淡路孝次

第44回秋田県建築士会大会秋田中央大会開催にあたり、東北各地よりお越しの青年委員長の皆様、心より歓迎いたします。また多数の御来賓の皆様にご臨席賜り全県大会が開催できますことは本当にうれしい限りであり、会員千名を代表し心から感謝申し上げます。

ところで私は第42回大館・北秋田大会から主催者代表となりましたが、そのときのテーマは「歴史とまちづくり」、翌第43回横手大会は「歴史と暮らす」をテーマに開催しております。その両市は共に歴史的風致維持向上計画で文科省、農水省、国交省より認定を受けております。その取組みに専門家として参画できるのが建築士会の取組みであるHMであり、両市ともに養成講座を開講し専門的建築士HMの養成に努められております。地域に根差し地域の街づくりに取り組んでおります私共秋田県建築士会にとりまして、昨年度までの大きな前進と言える出来事であります。

本年は、新たな年号幕開けの年、秋田県建築士会にとって再来年の全国大会秋田大会開催に向け準備を進めている年であります。来年11月の広島大会には会員100名で大会旗引継ぎと、開催地のPRに伺うこととなりますが、その際全国の仲間で開催エリア東北をそして開催県秋田をアピールすることとなります。その内容を決する大事な本年、開催の中核となる中央地区において開催する全県大会はリハールにもなる大会であります。

自分の地元をアピールするには、会員それぞれが地域に愛着と誇りを持たなければなりません。本年の大会テーマ「あきたの魅力再発見」は正に的を射たテーマと思っております。

本日までご参加いただきましたご来賓の皆様、東北各地よりおいでの青年委員長さんには秋田の会員と親睦を深めながらも秋田の魅力に対して忌憚のないご意見を賜ればありがたいです。また会員の皆様には今大会を改めて地元を振り返る機会ととらえ、地域の魅力を醸成するよう今まで以上に活躍頂きたいです。

この度の大会がそれぞれの地域の発展につながり、参加者の皆様のご健勝に資することを祈念し主催者としての挨拶といたします。



来賓挨拶 県議会議員 今川雄策 様



大会会場

青年委員長あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 青年委員長 草 薙 渉

本日は、第44回一般社団法人秋田県建築士会大会秋田中央大会の開催にあたり、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、県内各地の建築士の皆様には、ご多用中のところ多数の方よりご参加頂きましたことに心より御礼申し上げます。

さて本年は「あきたの魅力 再発見」を大会テーマとし開催いたします。

来る令和3年10月に第64回建築士会全国大会あきた大会が開催され、そのメインテーマが、“『建築』で挑戦！郷土のこれから”と決定しております。今回のテーマはこれを意識したものであり、この大会が「Civic Pride」の醸成につながるものと確信しています。

これまで私達の先輩方々が築き上げてきた秋田には、魅力、誇れるものが沢山あると思います。あたり前に存在する目の前の物が、魅力だったり誇りであったりするかもしれません。それを発見し郷土愛という思いだけに留めるのではなく、皆でそれを「より良く」していくために挑戦していくことが、これからは必要であると考えます。

本大会が皆様にとって、改めて故郷の良さを知るきっかけとなり、郷土愛がより一層深められ、それが活動するためのエネルギーの一つとなることをご祈念申し上げまして、大会にあたっての挨拶といたします。



来賓挨拶 県建設部長 小林賢太郎 様



来賓挨拶 県建設部建築住宅課長 伊藤和博 様



来賓挨拶 秋田市都市整備部長 根田隆夫 様



乾杯 秋田地域振興局建設部長 佐藤春浩 様

歓迎のあいさつ

秋田中央建築士会 会長 田 仲 雅 美

本日、ご多用にも拘わらずご来賓の皆様のご臨席を賜るとともに、東北各県の青年委員長および県内各地域会会員のご参加のもと、第44回（一社）秋田県建築士会大会秋田中央大会を開催できました事、主管建築士会として感謝し心より歓迎申し上げます。



今大会は、2021年の（公社）日本建築士会連合会全国大会あきた大会の決定テーマであります『「建築」で挑戦！郷土のこれから（～け、け、け、の秋田でまずかだれ～）』を踏まえ、全国の仲間を迎え入れる機運醸成のため、私たちが秋田の魅力を再発見することも重要な要素と捉え、まずは「美」の秋田を意識した「あきたの魅力 再発見」をテーマにしたところであります。

大会初日の記念講演およびトークイベントさらには懇親会、また翌日の優良建物見学会での会員間交流の中で様々な発見があることをご期待申し上げ歓迎の挨拶といたします。

結びに、本大会の開催にあたりご理解ご協力いただいた関係各位、そして準備にご尽力いただいた当会の事業委員会および青年部会の皆様に感謝申し上げます。



アトラクション あきた舞子舞踊



あきた舞子舞踊



用意された秋田の名酒



が、全て空瓶に・・・



大会旗伝達 由利建築士会へ



懇親会

◇フォーラム

記念講演 14:15 ~ 15:30

「都市の風景とまちのディテール ~秋田における市街地木質化の事例を通して~」

秋田公立美術大学 教授 小杉 栄次郎 様

1992年 東京大学工学部建築学科卒業

磯崎新アトリエなどを経て2013年より秋田公立美術大学で教鞭

現在は、景観デザイン専攻 専攻長、

一級建築士事務所コードアーキテツツ 代表

NPO法人 チーム・ティンバライズ 副理事長

《県内プロジェクト》秋田駅

の木質化

千秋公園：文化施設松下のリノ

ベーション

秋田内陸線阿仁合駅（あにあ

い駅）のリノベーション



トークセッション 15:30 ~ 17:00

「あきたの魅力とは？」

パネリスト

福祿寿酒造株式会社 代表取締役 渡邊 康衛 様

福祿寿より「一白水成」のブランドネームが有名です。日本酒の原点でもある、米づくりや、地域の水資源など、酒づくりを通じた地域での取組みなどについて、お話いただきました。

株式会社せん 松岡 叡美 様

北秋田市出身。株式会社「せん」で、あきた舞妓の営業、企画、広報をご担当されており、あきた舞妓の活動や見所などをご紹介いただきました。

コーディネーター

秋田中央建築士会青年部会長 能上 崇



◇総評

秋田中央建築士会 青年部会長 能 上 崇

第44回一般社団法人秋田県建築会大会秋田中央大会が、11月16日(土)、秋田市のイヤタカを会場に開催され、県内外の多くの会員に参加いただきました。

今回、秋田中央大会を企画するにあたり、令和3年10月に秋田市で開催される建築士会全国大会あきた大会に向け、秋田県民である我々自身が地域の魅力を知り、全国からの建築士を迎え入れる気運を醸成していくことが重要と考え、テーマを「あきたの魅力 再発見」としました。また、全国大会あきた大会テーマは『「建築」で挑戦！郷土のこれから』と決定しており、今大会も郷土を知るひとつの機会にさせていただきたいと考えました。

大会式典に続いて行われた記念講演では、秋田公立美術大学、景観デザイン専攻の小杉栄次郎教授から「都市の風景とまちのディテール～秋田における市街地木質化の事例を通して～」というテーマで講演いただき、JR秋田駅前市街地での木質化ケーススタディや、駅中央改札付近と東西自由通路に設置された木質化モデル展示などについて紹介いただきました。秋田駅前既存ビルの改修イメージでは、普段見ている街並みが新しくも懐かしい景観に変わっており、建築とデザインの力を感じた方も多かったのではないのでしょうか。また、JR秋田駅の内観や西口木造バスターミナルは、間違いなく秋田を訪れる方々に誇れる景観であると思います。

記念講演後のトークセッションでは、「あきたの魅力とは？」というテーマで、「一白水成」で有名な福祿寿酒造代表取締役の渡邊康衛さんと、あきた舞妓の活動を行っている株式会社せんの松岡叡美さんからお話を伺いました。秋田県内外で活躍されているお二人のお話からは、米と水、風土と歴史の重要性を改めて知ることができ、実は普段から身の回りにあるものが、あきたの魅力であると感じたトークセッションでした。

翌日17日(日)の優良建物見学会では、五城目町下夕町を訪れ、トークセッションに登壇いただいた渡邊康衛さんの福祿寿酒造酒蔵とリノベーションカフェ Hikobe を見学したほか、呉服屋の店舗をリノベーションしたアートギャラリー「ものかたり」で主宰の小熊隆博さんから事業の説明を受けました。また、当日は「朝市 plus +」の開催日でもあり、肌寒くはありましたが賑やかな雰囲気を感じられた一日となったと思います。今回、優良建物見学会の訪問先として五城目町を選んだ理由は、リノベーションの好事例が多いこともさることながら、地域のなかで若い人たちが何かをしようとしていることに「郷土のこれから」のヒントがあると感じたからです。五城目町では、街中の既存店舗を改修した子どもの遊び場があったり、絵本のギャラリーがあったり、昔からそこに暮らす人びとの社会に若い世代がうまく溶け込んでユニークな活動が行われています。また、その活動からは、酒蔵で麹が発酵して日本酒が生まれるように、何かが発酵して新しいものが生まれてくるような感じを受けます。見学会に参加された方々にとって、「郷土のこれから」を考えるうえでの一助となれば、企画した者としてうれしく思います。

最後に、秋田中央大会の準備にあたっては、多くの秋田中央建築士会の青年部会員ならびに事業委員の先輩方に尽力いただき、こうして無事に大会を終えることができました。秋田中央大会に参加された皆さま、開催に協力いただいた皆さまに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

次回の第45回由利大会でも、多くの方々にお会いできることを楽しみにしております。

令和元年度 優良建物見学会

今年度の優良建物見学会は、秋田市で開催された秋田県建築士大会秋田中央大会に合わせて、翌日の11月17日（日）に開催されました。見学した建物は南秋田郡五城目町の福祿寿酒造酒蔵・リノベーションカフェHIKOBÉ・アートギャラリー「ものかたり」です。集合場所の秋田駅東口からバスに乗ること50分で到着、自家用車組と合流し総勢参加者61名が二班に分かれての見学となりました。

福祿寿酒造では、前日のトークセッションでお話を伺った渡邊康衛様から直接ご案内をしていただきました。また、アートギャラリーでは施設職員から説明を受けたあと、街並みを散策しながら五城目朝市を体験し、茸や地元食材に舌鼓を打つ姿や非売品の名酒に列ができるなど少なからずとも地産地消に貢献いたしました。

好天に恵まれ、優良建物だけではなく、五城目町の街並みも楽しみながらの見学会となりました。バスの添乗から現地案内、道中の珍トーク？など、秋田中央建築士会のスタッフの皆様、たいへんお疲れ様でした。

午前9時、秋田駅東口からバスで出発。到着まで約50分。道中、中央建築士会スタッフから見学会概要の説明の後、謎の建築士『北さん』の漫談が約40分、突然のアトラクションでした。



バスが五城目町に到着。添乗スタッフの案内で現地まで徒歩移動。



自家用車組と合流し全員集合。見学会の事前説明です。



福祿寿酒造(株)正面。他の見学者もちらほら。



福祿寿酒造の玄関。興味深い納まりがたくさんあります。



福祿寿酒造の玄関にて、除菌のため全員が帽子と靴カバーを着用。説明は前日にお話を伺った代表取締役の渡邊氏です。



酒造りの工程やお酒にまつわるうんちくなど
教えていただきました。



最も古い年代の蔵で、過去の大きな地震でも
耐え、多少の損傷があったものの補強をしながら
現在も現役で使用されております。ちなみに、
柱の蠟燭は、一年に一回の儀式の際に灯される
とのこと。



見学の最後に普段は入れない庭園を見学させ
ていただきました。立派な日本庭園と座敷のめ
ずらしい造作などを見ることができました。



リノベーションカフェ HIKOBE 裏庭
の全景



HIKOBE



アートギャラリー「ものかたり」の外観



「ものかたり」の内部。和室の床を撤去して土間に。日が差し込むラックの向こう側は畳敷きの小上がりとなっており、内装と共に家具もデザインされており、統一感のある空間となっている。



「ものかたり」床の間の再利用の状況。丁寧な造作や細かな建具細工は貴重な資料・資源として長く遺していきたいものである。



「ものかたり」ギャラリーから蔵を見る。繋がる土間は大きめの石を埋め込み、アクセントが効いている。



有名な五城目の朝市。茸類はやや終わったとのことでしたが、温かい茸汁は絶品でした。



名物の「おやき」の店。にぎわっております。



五城目町の街並み散策



見学会も終わり解散式です。中央建築士会スタッフの皆様、お疲れ様でした。

※集合写真を背表紙に掲載しております。

親子体験学習「気持ちのいい家つくろう」in 横手

横手建築士会 鈴木 ルリ子

令和を迎え最初の親子体験学習は、このイベントが始まった横手市での開催となり、今回で15回目となります。

今年は「東北ブロック女性委員会視察・見学会」と開催時期や見学会の場所も偶然重なっていたという事もあり、同時開催ということになりました。

準備段階ではよく分かっていないまま踏み出してしまい、女性委員長を始め諸先輩方には毎回助けていただきました。初めて自分も企画する側に携わってみて、改めて裏方で頑張る諸先輩方がいるからこそ様々な行事等がスムーズに進められていたこと身をもって感じる事ができ、本当にいい経験をさせてもらえたと振り返っているところです。毎日のように行っていた打合せメールも今となってはいい思い出です（笑）

今回、親子体験学習の会場は「雄物川町民家苑木戸五郎兵衛村」での開催でした。場所の選定にあたっては横手支部女性メンバーとの話で今の家は天井が貼られていて屋根裏の造りも見えないので子供達に家の裏側を見てもらいたいねということで決定したところでした。また、雄物川町を皆さんに知ってもらい、地域を盛り上げたいという気持ちから雄物川町開催に至ったところです。

親子体験の募集では他支部の女性メンバーからの協力でFM局から呼びかけてもらったり、フリーペーパーや横手市報等への掲載、横手市内全小学校へビラを配布、各施設へポスターを貼るなど多方面へ支部メンバーと協力しこのイベントへの周知を図りました。

当日は親子9組、女性委員会、青年委員会、東北ブロックの委員長方など総勢63名と賑やかに体験学習を始めることが出来ました。

古民家でのイベントは作り手側の気持ちにも何か影響を与えるのか、例年とはまた違った拘りある手の込んだ作品が目立ったようにも思います。



作業開始時は何から手をつけていいのかわからず固まっている子もいましたが、サポートに付いているメンバーがアドバイスをしあげると形が見えてきたのか、ものづくりに自分からどんどん手を加えていき、休憩も取らずに黙々とのめり込んでいく姿は見ている側も嬉しくなりました。子供達は作っていくうちに気持ちも大きくなるのか「車で運べる大きさで」ということも忘れどンドン家は大きくなっていきました。(笑)

最後の感想では、「長い時間子供と向き合い何かを作り上げるといことは初めてだったのでこのようなイベントは続けて行ってもらいたい。」「子供以上に自分の方がはまっていた」という感想をいただき、携わってきた私達も嬉しくなる瞬間でした。

このイベントを開催するにあたり、協力して下さった女性委員会のメンバー、青年委員会のメンバー、親会の皆様、本当にありがとうございました。

そしてお忙しい中、遠方から会場まで来てくださった淡路会長、並びに地元横手建築士会の照井会長には、ご参加頂きまして誠にありがとうございました。

次回は能代・山本地区担当予定です。ぜひご参加ください。



あきたの魅力・由利の魅力 再発見

由利建築士会 周 防 敦 子

2019年11月26日に秋田市で行われた秋田県建築士会大会に参加させていただきました。2021年建築士会全国大会あきた大会の開催に向け「あきたの魅力」を再発見し、全国からの建築士を迎え入れる気運を熟成することを目的として、都市木造における秋田杉の活用や秋田での酒づくり、あきた舞妓の活動についての講演・トークセッションが行なわれました。

講演・トークセッションでの話を伺い、残すことの大変さ、変わっていく事で残っていく努力をしているのだと思いました。ただ、その努力は大変ながらも知人や仲間と協力して楽しんでやっているのではないかとともに・・・。

自分の地域で楽しみながら住んでいると、一緒に地域の活性化にも繋がるのではないかと感じられます。

私は県外出身者なので、県外出身者からの秋田の魅力をあげます。

○秋田の魅力

私が感じる秋田の魅力は空気です。ゆったりのんびりできる空気をもっているのです。住んでいると毎日多忙で感じにくいのですが、友人は何もせず、お酒をのんで、温泉でのんびりするのがすごく良いと言っていました。

そして、古いものが良く残っていて、ふるさとではない者でも懐かしいと思わせる風景があります。街中にあふれる木の空間もあたたかく迎えられているようでとても良いと思います。

○由利の魅力

由利地域は海・山・川と自然あふれる地域で歴史的建造物から近未来的な建物と多くあります。自分が住んでいるといつもの風景になってしまい、魅力を発見するのが難しいのですが、こんな時は旅行者になったつもりで出かけます。

私のおすすめは由利本荘市の鳥海山木のおもちゃ美術館・カダーレ、にかほ市の蛸満寺・TDK歴史みらい館などたくさんあります。

今、一番気になっているのが由利本荘市石脇地区。国登録有形文化財になっている「齋彌酒造店」や



由利本荘市民俗芸能伝承館「まいーれ」から見た鳥海山



齋彌酒造店



発酵小路 田屋

2019年7月5日にOPENした古民家リノベカフェ「発酵小路 田屋」などがあり、変わりながらも残っている地域だと思います。いつもは車で通り過ぎてしまうのですが、ゆっくり旅をするように歩きたいです。

2020年は秋田県建築士大会が由利で行われますので皆様ぜひお越しくださいませ。

○秋田がアツイ！

つい先日、東京の知り合いから写真が送られてきて、何かと思っていたら、『いぶりがっこチーズ』と『秋田県産うるち米の揚煎餅』。「スーパーで秋田フェアがやっていた」と教えてくれました。テレビでもこの頃、秋田を取り上げている番組が多いような気がします。そして一度は行ってみたい温泉地1位に「乳頭温泉」が輝きました。どうやら、秋田ブームが来ている気がします。

この波に乗って第64回建築士会全国大会あきた大会に多くの人に来てもらい秋田を楽しんでもらいたいです。

「令和元年度 東北ブロック会女性委員会 視察・見学会 IN あきた」に参加して

横手建築士会 酒井 あずさ

令和元年10月6日（日）横手市内を会場に「令和元年度 東北ブロック会女性委員会 視察・見学会 IN あきた」が行われました。

当日は東北各県からの参加者と秋田県建築士会の参加者を含めて総勢50名を超える参加があり、午前の部は全体を2班に分けて徒歩でまち歩きをしながら見学ポイントを巡りました。

松橋委員長の挨拶の後、まずは全員で羽黒町武家屋敷通りに行き、登録有形文化財遠藤家住宅をはじめ、歴史的な佇まいを残す羽黒町・上内町地区の雰囲気を楽しみながら散策をし、その後各班で旧日新館と昨雪軒の見学をしました。

旧日新館は秋田県指定の有形文化財で、明治35年に外国人のための宿舎として建設された木造住宅です。最初の居住者である旧制横手中学校（現横手高等学校）の英語教師であったチャールズ・C・チャンプリンの指導を受けながら地元の大工棟梁藤村初五郎が建築しました。玄関の半円アーチのガラスの欄間や、玄関・バルコニーの柱頭飾り、背の高い上げ下げ窓などが特徴的な、秋田県内には貴重な明治時代の木造洋風住宅で、現在も所有者である鶴岡さんが住まいながら大切に管理していらっしゃいます。

昨雪軒は建築家白井晟一の設計による住宅で、通常は非公開なのですが今回特別に見学させていただくことができたもので、地元にいる私にとっても初めて拝見する機会となりました。門をくぐると広々とした石庭が広がり、その奥にある住宅の玄関アプローチへと繋がります。ちょうど紅くなり始めた庭の紅葉や山の緑と相まって、完成された一幅の絵の中にいるような素敵な空間でした。対して玄関アプローチは、低く抑えた天井と限られた開口部からの自然の光を活かした薄暗い空間となっていて、開けた庭との対比が面白かったです。実際に空間に身を置くことで、写真だけではわからない良い体験をす



ることができました。

まち歩きを終えた後は、ゲストハウス平源へ。国登録有形文化財でもある大正時代に建設された建物を見学させていただいた後は、宴会場で平源の改修設計をされた安井妙子氏よりお話を聞き、続いて増田まちなみ研究会の鈴木会長より横手市増田伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の修理事業の実践的なお話を聞きながら豪華なランチコースをいただきました。引き続き、別室にて第2回東北ブロック会女性委員長会議が開催されました。

午後の部は、横手市増田町へ移動し、今年5月1日にリニューアルオープンした増田まんが美術館を見学した後、各自増田のまちなみを見学、最後は保存地区内の伝統的建造物である満福寺本堂の修理工事を見学させていただきました。

満福寺本堂は天保2年（1831年）に建設された歴史ある建築物ですが、この工事は、これまで茅葺屋根の上にトタンが被せられていたものを、茅を撤去した上で現在の屋根の形そのままに銅板葺にするという大工事です。実際の施工にあたっての苦労話や、工事の過程で出て来た当初建設時や昭和48年頃の屋根改修工事に関する様々なお宝？の写真をを見せていただき、また本堂内部の素晴らしい板絵が描かれた格天井などを拝見することができました。

数日前からの天気予報も微妙な予報が続き心配していましたが、蓋を開けてみると皆さんの日頃の行いが功を奏したか、お天気にも恵まれ無事に視察・見学会を終えることができ、準備から関わった地元スタッフのひとりとして、ほっと胸をなで下ろしたところです。

最後に、この視察・見学会の実施にあたっては、横手建築士会の皆様に多大なご協力をいただきました。盛り沢山の見学会でしたが、横手市内のこれからも大切にしていきたい建築物の数々を見直す良い機会となりました。ご協力をくださいましたすべての皆様に、改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



北海道大会報告

第62回建築士会全国大会「北海道大会」について

昨年9月21日(土)、函館市において、全国大会「北海道大会」が開催され、当会から88名が参加いたしました。実行委員6名の方々に大会に参加した感想などを寄せていただきました。

【北海道大会】 レポート

湯沢雄勝建築士会 会長 佐藤隆志
(実行委員会：式典委員会)



昨年、9月21日、22日【第62回建築士会全国大会「北海道大会」】に参加してきました。

私達、湯沢雄勝支部のメンバーは前乗りして20日朝7時半の電車に乗り いざ 出発！

新幹線を乗り継ぎ4時間ですが、あっという間に函館到着です。数日後には台風の予報も出ていましたが、到着してみれば心配無用の晴天です。早速、地元の美味しい料理(朝イカさし・海鮮丼)に舌堤を打ちました。その後ジャンボタクシーで函館の街を散策へ。メンバーの中にとっても詳しい方(女性)がいて、その人の言うなりにソフトクリームを食べながら函館山・五稜郭等々観光ざんまいです。

夜はホテルで宴会をして……………。

翌21日は朝からメンバーそれぞれの会議に出席しました。私はお昼過ぎに会場に向かいました。さすがに、全国大会。人がたくさんいます。受付アプローチには人・人・人。何より北海道のスタッフより来年度開催地の広島のアピール！がすごいなの。来年私達も広島でアピールしなくてはならないのかと思うと、ちょっと、ひきました。

時間があつたので、展示ブースを見て回りましたが、施設の形状の関係もあり、初めて行く私達にはちょっとわかりづらかったと思います。ですが、それぞれのブースでスタッフが笑顔で対応していて心地よい雰囲気でした。全国から来る多くの人に対して自然と笑顔・気遣いができる事は見習わなくてはなりません。

記念講演の藤本壮介氏の話もさすが若手売れっ子建築家！(馬鹿にはしていません)聞き手を飽きさせないすばらしい講演でした。

その後、大懇親会が17:30から始まりましたが、スタッフは外部テントの撤収・会場準備に休む暇なく動いていました。



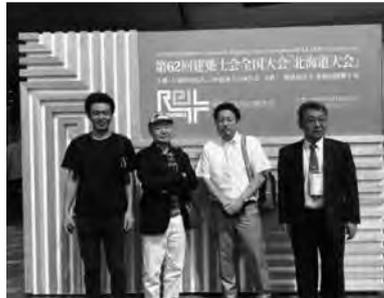


函館名物！焼き鳥弁当・ハンバーガーやお酒など、どれも美味しいものばかりでした。ただ、やっぱり人が多すぎて秋田県人の私にとってはせづらね（落ち着かない）感じでした。

余興ももう少しあってもいいんじゃないかなろうか？と思いました。

全体を通して私の感想は、まんずおもしろしゃっけ！！です。

旅行気分に参加しましたが、帰ってきて楽しい時間を過ごせたなあと思えることが、大会成功なのかなあと、私は思います。



函館大会レポート～随想～（令和元年9月21日）

能代山本建築士会 会長 大 高 勇
(実行委員会：総務・財務委員会)

函館駅からアリーナへ

函館駅から出て朝市のどんぶり横丁で昼食を済ませ、市電乗り場へ向かうと50mほどで黄色のベストを着た地元スタッフを数名見つけた。その先の停留所に旗を持っている人も居たようだったが手旗の色は水色で目に留まらず、これは後で写真にて判明した事。大会会場前ののぼり旗も黄色だったので大会カラーは黄色という事らしい。目立つ色である。

市電ホームではアリーナへ向かうであろう会員の行列があるので、黄色ベストのスタッフに聞くこともなく、迷うことなく私たちはその後ろに並んだ。今回能代からは5人で21日朝に出発、大交流会以外は全て行動を共にしている。



アリーナ到着から飲食ブースへ

午後2時過ぎに函館アリーナへ到着。両側の黄色ののぼり旗の中央を玄関へ向かって進んだ。玄関前のメイン看板の色は水色、メインカラーの黄色はこの看板には使用していない。さっき停留所で見か

けた手旗も水色だったので2色使用しているようだ。黄色との補色として水色を選択したのだらうと後で感じた。立て看板前では記念写真撮影の為の専属スタッフが居り、他県から来た皆さんが数人順を待っていて、私たちも有り難く5人の集合写真を撮ってもらった。

1階ホールに入って左側に受付、さいたま大会のように奥の方ではなかったのが分かり易く、その向かいには次回開催の広島のパRブースがあり、受付では首掛けの名札と大会資料を受け取り、広島ブースからはパRパンフ1枚と記念の鏡目盛付きカード?を頂いた。クロークも直ぐ後ろの方にあり位置的に分かり易かった。

着いたのは残念ながら記念講演が始まっていた時間で、メインアリーナへの途中入場を遠慮し、ホールを突き抜けて飲食ブースがあるともえ広場に向かった。5人のうち全国大会初参加のメンバーが2人居る事もあり、過去の大会での印象を私なりに彼らにパRしていた。地元名物、美酒美味を堪能できるという賑わいを期待していたが落胆。4~5張り程並んだ飲食販売テントは殆ど売り切れ、残っていたのは海鮮丼弁当のみでアルコール類の飲み物も売り切れていた。思うに記念講演も始まり、1時間後には式典を迎える時間である。飲食も終えて欲しいという主催側の意向なのだろうか。数年前の山形大会や福島大会を経験している当方からすれば寂しい限りであった。更にテントが縦に5列並んだ飲食席は、パイプ椅子160脚ぐらいが殆ど満席状態、せめて5人揃って休もうとしても空きが見つからない。初参加の2人に申し訳無いくらい拍子抜けした。

式典に参加

講演終了と同時にアリーナへ入ると、席を移動する人やトイレに立つ人、喫煙の為に屋外に出る人が会場後ろに多数行き交っていたが、空席を見付けとりあえず着席。そこで初めて大会誌や配布資料に目を通す。コンパクトなA5サイズの大会誌は、会場案内やプログラム等見易く移動時の持ち運びに便利だ。資料に同封されていた記念グッズは小さめの団扇、大会ロゴと名物いか踊りのイラストがプリントされている。

その後、秋田県士会のメンバーがまとまっている席(ステージに向かって左側前方の自由席)へ移動して式典を迎えるが、それまで顔見知りへの挨拶も楽しい。終えてからの集合写真撮影で県から約90人の参加と聞いてその多さに驚いた。後日の資料では88名と記録。自由席はアリーナの他に2階観客席もあったが、そこまで埋まる参加者数ではなかったようで、2階席はガラガラだった。後日発表は2493人であった。

オープニングセレモニーは江差追分という民謡と舞踊で、個人的にはオープニングとしては多少おとなしく暗いイメージを受けた。昨年の高校生の箏曲演奏や数年前の福島大会のフラダンス等の音響効果や視覚的に躍動感のあるものが似つかわしいように感じる。

15時15分から始まった式典は淡々と進み、最後は来年開催の広島県のアピール。110人ほどだらうか、全員広島カラーの赤いジャンパーを着て赤いのぼり旗を掲げていた。16時半過ぎ(プログラムでは17時まで)早めに終了。大交流会場である2階サブアリーナへの大移動が始まった。指示に従いゆっくりと規制退場。



大交流会

17時半開始まであと40分程度。2階ホールには人が溢れて、サブアリーナ会場への入場案内を立てて待っていた。この待機場所のホールに北海道士会スタッフの食事テーブルが置かれており、料理を覗くことが出来たが、暫くして開場となり、少しずつ列が動いて後から入る事ができた。立食方式となっており、東北ブロックと書かれたテーブルを探して、秋田の面々で囲まれたテーブルに付いた。

サブアリーナ（小体育館）という事もあり、バスケットリングなどが上部に見られ、床には厚手の黒のビニールシートが敷かれるなど様々な養生が施されていた。各テーブルに既に置かれていた料理は一般的なメニューだったが、壁際に地元名物のやきとり弁当、ラッキーピエロのハンバーガー、じゃがバターの塩辛添え、地酒などが配置されていた。他にテーブルには大会の号外まで置かれていた。開始の5時半までまだ20分以上あったろうか、目の料理を目にしながら懇談しながら立って待って皆さん疲れが見えていた。時間通り始まった挨拶と乾杯の発声にはフライングして飲みだすテーブルもあった。後日発表では総勢1254名の参加という。

過去の交流会では見たことが無かった事だが、各テーブルにスタッフが1人ずつ配置され、飲み物や名物の運搬、空いた食器やごみの片付け等、多様に面倒を見てくれており、他県にいたようなコンパニオンの代わりを務めてくれた。感謝であるが、乾杯まで長いとか云々、彼の前でクレームを言い合う事がはばかれた。

宴も中盤、立食に慣れていない私は足腰に疲れが覚えたが、ご老体の方にはかなり堪えるようで数少ない椅子を長時間占有する様が見られた。



5人の二次会

交流会終了後は市電の混雑を予想して、早めに会場を後にして停留所へ向かったが、既に黄色のベストを着たスタッフが2人ほどホームに立っていた。ふと、この方たちは交流会の間、飲まず食わずでずっとここに居たのだろうか？という疑問が浮かんだが、聞きそびれて電車に乗った。秋田大会でもそんな献身的な係り、スタッフも必要だと思った。

私たち5人はその後で本町の居酒屋「魚来亭」で根ボッケ等の函館の食を楽しんでいたが、後から隣の座敷に入店してきた団体さんがどうも函館のスタッフらしかった。お疲れさまでしたーと言いつつ声が何度も飛び交い安堵の気持ちを禊越しに感じる事ができた。



二日目を終えて

私事ではあるが、個人的に函館はここ5年、毎年某旅行で訪問している。昔市内に親戚も有り、過去十数回来ているので、エクスカーションへの参加は遠慮した。それもあり、4人の希望もあって、二日目はプライベートでゴルフを楽しむ事になっていた。場所はタクシーで20分程の函館パークカントリークラブで、良い天気の下で午後2時頃終了。以前の全国大会はエクスカーションの他にゴルフコースもあったがいつの間にか無くなってしまったのが残念と、仲間内で話した。

締めはレンガ倉庫で食事と買い物を堪能し函館駅へ。駅前ではエクスカーションの案内を終えた黄色ベストのスタッフが数名、待合室では秋田士会の面々が同じ電車を待っていた。もう1泊するというメンバーもいたし木曜入りしたメンバーもいて頼もしくもあり、羨ましくもあり、次回は私も長期で～という気になった。

●報告事項（上記抜粋）

- ①大会カラー スタッフのベスト、パンフ⇒ 黄色
メイン看板と手旗⇒水色
- ②会場前に記念撮影用の専属スタッフ常駐
- ③飲食ブースの品数不足、椅子不足（パイプ椅子 160 席程度）
- ④大会誌が A 5 サイズでコンパクト
- ⑤式典の際 2 階席が空席
- ⑥次回広島県は広島カープカラーで統一⇒ 赤
- ⑦交流会で各テーブルにスタッフ 1 名常駐（コンパニオン代わり）
- ⑧大会当日の号外が交流会に間に合わせて作成、配布
- ⑨乾杯までの時間が長い～前倒しに出来なかったか
- ⑩交流会後もスタッフが市電停留所など要所要所に配置有り（交代制か？）



第 6 2 回建築士会全国大会「北海道大会」 (R1.9.21 ~ 22) 視察報告書

(一社) 秋田県建築士会 理事 小 原 正 明
(実行委員会：総務・財務委員会)

1 アクセス・会場等

(1) 函館駅

・ベテラン地元会員 3 名が旗 1 本、のぼり 2 本を持ち出迎え。特に歓迎の声かけや市電、バス、タクシー乗り場への案内がなく、配るマップも持参していない様子。

⇒ 秋田駅改札口正面では、左右どちらが東西かわかりにくい。

・空港からのリムジンバス降り場では、どちらに行ったら良いか迷いやすい。

・「ふくしま大会」ではシャトルバスが用意されたが、地元会員の誘導は不十分。

・バス、タクシー乗り場を積極的に案内する必要がある、明るく口数が多い地元の秋田中央士会員が望まれる。



(2) お土産店

・駅前に有名な市場があるほか駅構内に店舗があり、お土産の購入は容易であった。

⇒・土産店、酒屋、きりたんぼや稲庭うどん等の郷土料理店など、問い合わせが多い事項についてはマップ配布やスマホ登録などの配慮が必要。

(3) 会場前、正面入口前

- ・看板が小さくのぼりもないため、会場周辺や正面入口からは「全国大会」を開催している会場の雰囲気が伝わってこなかった。
- ・モニュメントは林業関係団体の協力を得て製作しており、工夫が見られたが、遠目からは迫力不足であった。

⇒・「あきた大会」は会場が分散しており、マップがあっても本当に会場が進んでいる方向なのか不安になることが想定される。

- ・のぼりをユニフォームと同一色とし、できる限り会場付近に立て、誘導員を貼り付けたい。

⇒・「あきた大会」では林野庁長官の来賓祝辞が想定されることから、林業県として林業団体の協働を印象付けたい。

(4) 総合受付

- ・受付事務は円滑であったが、特に歓迎や案内の言葉がなく、どこに向かっていたら良いのか不明であった。(企業出展ブースや昼食配布コーナー、セッション会場等)
- ・資料袋は防水メーカーの協力を得て製作しており、工夫が見られた。

⇒・紙袋はかさばることから、ビニル製が望ましいのではないか。

(5) 企業出展ブース

- ・狭い回廊にある上に行き止まりであり、訪れている人は少ないようであった。

⇒・同コーナーはゴチャゴチャしがちであるが、賑わいづくりの演出効果があることから、会場への動線上に設けるなどの工夫が必要である。

(6) 「高校生の「建築甲子園」入賞作品」展示

- ・見ている人が少なく、会員の関心は低いように感じた。

⇒・本県では1校の応募のみ。秋田県高校教育研究会工業部会建築小部会や秋田高専の協力を得て、県内工業系高校生徒に作品鑑賞の機会を設けてはどうか。

(7) 昼食配布コーナーおよび弁当

- ・配布は円滑であった。ただ、屋台村(昼食)への案内がなく、屋上の地元士会員と一緒に食べることになった。昼食時に屋台はやっていなかった。

⇒・地元士会員と他と明確に分離した方が良い。

- ・地元士会との昼食は準備・運営の大変さを知るために、来年は広島県士会員のコーナーでの昼食を勧めたい。

(8) 次回開催地コーナー

- ・明るく声を掛けてくれたが展示は雑然としており、詰所のように印象は良くない。
- ・カウンターに立っているのは1名で、他の4名は休憩している印象であった。

⇒・展示物を厳選し、見やすいものとしたい。

- ・最低2名はカウンターの中に立ち、2名はカウンターの前に立ちアピールするものとし、その他は交代でパネルの陰で休憩することとしたい。



2 防災まちづくりセッション

・地元士会員は受付に6名、写真係1名。セッション会場まで受付からどう行けば良いか、わからなかった。また、二つの扉のうちどちらが入口かわかりにくかった。

⇒・フロア案内表示、誘導表示、会場案内表示をした上で、会場前に係員を配置したい。

3 記念講演

・会場が広く、中途入場者もゆっくり座ることができた。

・講師は近年、国際設計コンペで立て続けに最優秀賞に輝いている。地元出身の気鋭の建築家ではあるが、会場が広いこともあり、入場者の反応は散漫なようであった。

・講師は郷土の誇りであると思うが、コンペの計画地がヨーロッパであり、北海道や大会テーマとの関係性も薄いようであった。

⇒・講師や内容は秋田や大会テーマとの関連を考慮し、多くの方に関心を持ってもらえるものとしてほしい。

4 大会式典・オープニングセレモニー

・「江差追分」は重々しい印象を受けたが、品格と地元の誇りを感じた。

⇒・秋田は無形民俗文化財の宝庫であることから、華々しく披露したい。

5 大会式典・挨拶・来賓祝辞

・連合会会長の挨拶、国土交通大臣、道知事、市長、林野庁長官、大韓土協會會長の祝辞がありと長い時間がかかった。

⇒・連合会長挨拶はパンフレットに記載の文章をもとにしたものであった。

・「さいたま大会」の倍近い分量であり、文字が小さいため、原稿段階で簡潔な文章とし文字を大きくしたい。

・林野庁長官の祝辞は三井所会長の意向で昨年の「さいたま大会」から継続中。

⇒・「あきた大会」でも行うことになることから、林業や木造関係の会員に周知したい。

・大韓建築士協會會長の祝辞は相互交流で行っているもの。

⇒・来年は日本が韓国に訪問し、「あきた大会」には相手を招くことになることから、時間を確保しておく必要がある。

6 大会式典・大会アピール

・大会宣言が全体的に長いように感じた。また、前半の地元士会会長に比べ連合会副会長の時間が長く、バランスが悪い印象を持った。

⇒・連合会総務・企画委員会の中でも、北海道士会が作成した原稿について前年開催の埼玉士会会長から分量が多いとの指摘があった。簡潔な文章とし、前半と後半のバランスを考慮したものとしてほしい。

7 大会パンフレット

・参加者は、いつ、どこで何が行われるかを容易に確認したいと思っている。

・これまでは目次で該当ページを確認する必要があったが、「北海道大会」パンフレットはその必要がなく、「タイムスケジュール」と「会場案内」を表紙裏側の見返しに見開きで、「大会式典プログラム」と「大会式典会場案内」を中綴じ冊子の綴じ部分に見開きでレイアウトしており工夫が見られた。

⇒・「タイムスケジュール」、「会場案内」、「大会式典プログラム」、「大会式典会場案内」は「北海道大会」

パンフレットと同様としたい。

- ・「ふくしま大会」と同様、「アクセス」と「案内図・シャトルバス運行の案内」を裏表紙裏側の見返しに見開きでレイアウトしたい。

8 大交流会

- ・他の全国大会では、次のような光景が見られた。
 - ①大交流会スタート時に既に料理がなくなっている。
 - ②料理配膳テーブルから離れたテーブルには、料理が並んでいない。
 - ③地元士会スタッフが、他の士会に率先して飲食していた。
 - ・地元士会スタッフの対応に感心した。
 - ①各テーブルに最低1名のスタッフを配置し、開会から閉会まで各士会の世話。
 - ②担当スタッフが、料理配膳テーブルから離れたテーブルへこまめに料理を運搬。
(料理の取分けでの錯綜とトラブル防止のため)
 - ③飲食の一斉スタート時間を守らせていた。
 - ④地元士会スタッフの飲食は会場外のロビーであり、会場内で飲食は見られなかった。
(地元士会会場は会場外のロビー)
 - ・会場は式典会場と同一施設であり、誘導は円滑であった。
- ⇒・「あきた大会」は会場が分かれることから、この誘導の成否が大会の満足度に大きな影響を与えるため、周到な計画と丁寧な対応を必要とする。
- ・手狭なせいか、アトラクションはなかった。
- ⇒・秋田県は無形民俗文化財の宝庫であることから、大交流会会場向かいのにぎわい広場での竿燈演技の検討なども含め、計画する必要がある。- ・懇親会費を低額に抑え、高級料理は少なかったが、地元名産の焼き鳥弁当やチーズスフレ、乳酸飲料、じゃがバターなど、安価でお腹に貯まる料理が出されていた。

⇒・稲庭うどんやきりたんぽ、だまこ餅、あんごま餅、しんこ餅、バター餅など、秋田特産の料理やスイーツを提供するのもお腹が一杯になって良いかと思う。



9 参加人人数一覧（概数）

大会参加登録者：2,880名、大会運営スタッフ：250名

記念講演：1,632名、式典：2,493名、大交流会：1,299名

昼食：679名

委員会セッション／

青年委員会：298名、女性委員会：101名、景観・街中（空き家）まちづくり：187名、福祉まちづくり：62名、防災まちづくり：102名、環境部会：43名、情報部会：50名、歴史まちづくり：202名

エキスカーション／A：142名、B：95名、C：73名、D：50名、E：88名

建築士会全国大会北海道大会 視察報告

(一社) 秋田県建築士会 理事 工 藤 博 臣
(実行委員会：会場行事委員会)

9月20日（金）全国建築士フォーラム

■会場

- ・ホテル函館ロイヤル（函館駅より徒歩10分、市電最寄り駅より徒歩3分）
- ⇒・場所は駅からも近く、広さや設備も十分。
- ・映像や音響設備を使用する。

■時間

- 13：30～16：30 フィールドワーク
- 16：30～19：00 ワークショップ
- 19：00～21：00 交流会

- ⇒・時間設定は、行う内容によって変わる。
- ・今回はまち歩きがあったので早い時間からの設定。

■内容

- ・全国大会前日に行われる建築士フォーラム、連合会青年委員会主導での開催。
- ・前半のフィールドワークは市電で函館のまち歩きを通してSNSでの情報発信能力の向上。
- ・サイコロを転がして指定された駅周辺を散策し、まちの魅力を専用のフェイスブックグループページに投稿する。
- ・後半のワークショップではSNSの外部講師を呼び前半のまち歩きを含めてのディスカッション。
- ・会場を3階に移動しての交流会。その後の二次会まで。
- ⇒・内容運営は連合青年で、地元士会の動きは会場との連絡調整など。
- ・交流会も行うので、会場は同じがベスト。違う場合は歩ける範囲で。
- ・最近では交流会後の二次会として、地元で選定した会場で行う。（参加者120名程度）

■参加状況

- フィールドワーク 200名
- ワークショップ 200名
- 交流会 210名
- 二次会 120名

- ⇒・前回大会よりは少ないが200名位での参加見込みとし



フィールドワーク受付（北海道士会）



サイコロ振って目的地へスタート

たほうが良い。

■地元士会スタッフの役割

フィールドワーク 受付、案内誘導（駅受付、各市電駅での案内や声掛けなど）

ワークショップ 受付

交流会 受付

⇒・今回はまち歩きもあったので多く、延べで31名、実数で20名程度の協力依頼。

- ・参加費は事前振込のため、基本的に受付でのお金のやり取り無し、追加対応のみ。



ワークショップ会場



交流会 着座スタイル



9月21日（土）青年セッション

■会場

函館アリーナ（函館駅より市電で30分、市電最寄り駅より徒歩1分）
1階 武道場 A

⇒・場所は駅から遠いが市電があるので便利。

- ・300席を設けるには狭かった。
- ・武道場のため映像や音響設備を持ち込み設置する必要があり、難しい点あり。
- ・近年移動式スクリーン2台使用。



- ・大会当日のセッションのため大会会場や近場で行うのがベスト。

■時間

9:30～12:30

⇒・時間設定は、例年は2.5時間の午前中。

- ・今回ディスカッションの時間を取り3時間。

■内容

- ・全国大会当日に行われるセッションの一つ、連合会青年委員会主導での開催。
 - ・地域実践活動のブロック選考会、web投票。
 - ・全国47都道府県からの活動の中からブロック毎に1発表とし、7ブロックからの発表。
 - ・日頃の活動を皆と共有し、活動の更なる発展につなげる。発表時間は7分。
 - ・各ブロック7分間の発表後にブロック毎に分かれて質疑応答を2回。
 - ・その後全体ディスカッションを行い、最後に投票結果発表。
 - ・会場の参加者からその場で投票し最優秀賞と優秀賞を選考し、その後の式典で表彰。
- ⇒・内容運営は連合青年で、地元士会の動きは会場との連絡調整など。



青年セッション会場

■参加状況

- ・300名（名称は青年セッションだが参加は誰でも可能）

⇒・前回大会よりは少ないが300名位での参加見込みとしたほうが良い。

■地元士会スタッフの役割

- ・配布資料の袋詰めと当日受付
- ⇒・5～8名程度。

9月21日（土）会場受付・式典



受付・会場が大きなアリーナということで玄関ホールでの受付は広めで混みすぎに困ることは無さそうでした



受付の向かい側に次年度広島ブースのぼりと案内パンフレットあり



受付➡観光案内所



受付➡観光案内所➡当日受付・クローク・宅
急便
受付と少し離れたのは混雑解消の点で良いか
も当日の対応もかなりあり人員が必要



2階より
当初は2階席を封鎖していたが、後から解放
1階後部座席は式典中に追加で並べていた
中央に映像・音響機器



式典風景
メインアリーナに3000脚のパイプ椅子
1階より後ろより



ステージ上
大スクリーンと来賓席

■懇親会

(函館支部運営側の生の声)

- ・ステージに関しては、「生バンドや余興の音が大きく、それが会話の妨げになっていないか」ということ。
- ・この担当になってすぐに生バンドや冒頭の余興を削除。食と歓談をメインに交流会の流れを決めました。
- ・静かなBGMにし、会話に入れない方や会話のきっかけ作りにスクリーンにスライドを流す。

⇒・見せる物にもよりますが、この考え方もあるなど。

- ・しかし、余興が無ければいけないで、「あれっ、余興無かったね」との声もある。



親会スタート 挨拶

- ・この手の懇親会は、最後の10分の終わり方が肝心だな、と。色んな懇親会を見ているが、最後に盛り上がった懇親会は良い印象で終わる。中締めして、時間まで歓談を、みたいな懇親会は盛り下がること間違いなし。そういう懇親会はやりたくなくないな、と。最後は全員大団円でお別れ！というのをどう演出するか。というわけで、最後にいか踊りをしました。

⇒・この考えには賛成。

- ・締めの大事さは大きなウエイトを持つと思います。



中締め前の広島PR

テーマカラーは赤、のぼり50本

■式典

(函館支部運営側の生の声)

- ・式典に関しては、当初、事務局から聞かされていたのは「イベント会社はいれない。心配しなくても日本旅行の方でうまくやってくれる」ということ。というわけで、自分は大まかなシナリオをまとめておけば何とかなるのかな？と当初は思っていたのですが、蓋を開けるとそうでもなく、日本旅行は「手伝いなら何人かつきますよ」だけ。自分もこの手のイベントは初めてなので、何が必要で何が足りないのかよくわかっていない。事務局に確認しても「映像は頼んだ。照明も頼んだ。音響も頼んだ」と回答が返ってくるだけ。見積を頂き、よくよく確認すると、映像はホテルの結婚式を撮る程度の内容。カメラで撮って記念DVDを作る程度。

⇒・結果イベント会社を入れたのが大会2ヶ月前だそう。

- ・当初の段階で細かな作業計画があるわけでもないので、そのまま進めていたそうです。
- ・「JTBでやるんでしょ」は危険、当然ですが良く詰めない。

第62回建築士会全国大会「北海道大会」に参加して

(一社) 秋田県建築士会 青年委員長 草 薙 渉
(実行委員会：副委員長)

先日、北海道函館の地にて開催された建築士会全国大会「北海道大会」に、R3年度に開催される「あきた大会」を見据えながら参加させて頂きました。そのことについてご報告させて頂きます。

[概要]

と き：令和元年9月20日(金)～22日(日) ※関連事業含め3日間に渡り開催
と ころ：北海道函館市内 (函館アリーナ、ホテル函館ロイヤル、その他函館界限)
参加イベント：全国建築士フォーラム、青年委員会セッション、大会式典、大交流会、エクスカーション

[内容]

…第10回全国建築士フォーラム… (9/20 13:30～)

函館駅玄関付近に設けられた受付にて資料を貰い、フィールドワークがスタート。サイコロを振り目的地が決定したら路面電車に乗り込み移動。行く先々で町の魅力を発見してはFacebookを利用し情報発信を行いながら、函館市内をteam秋田で巡りました。その後、夕方より地元のホテルでワークショップが行われ、SNSの活用方法についての講演等がありました。そして、いよいよお待ちかねの交流会。連合会青年委員長による開会の挨拶。北海道青年委員長による歓迎の挨拶。前回の開催地埼玉県青年委員長による乾杯を経て交流会が始まりました。途中、余興が有り(なんと、マグロの解体ショー)、フィールドワークの表彰式が有りと時間が経つのは早く、中締め後に予め準備された2次会会場へ。そして3次会、4次会…その日の夜はアツと言う間に更け…というか、薄っすらと空が明るくなり…1日目が終了。

(所感)

函館駅に到着し、電車を降りてすぐのプラットホームには大会のフライヤーが掲示されていて、「遥々～来たぜ、函館♪」という実感が更に増しました。あきた大会では「歓迎！建築士会御一行様」のような横断幕等を掲げることが出来れば、訪れた皆さんにも喜んで頂けると思います。

フィールドワークの受付場所は事前案内があったことと、駅前広場のインパクトのあるモニュメント近くに設置されていたこと、また黄色いベストを着たスタッフの姿も目立ち、周囲に案内板は見当たりませんでした。何の迷いもなく辿り着くことができました。そして、受付では名札、サイコロ(キャラメル)、栗、そして路面電車の日乗り放題券が入った、布地のイラスト入り手さげ袋が手渡されました。街中を散策していると同じ名札や、手さげ袋を持ち歩いている人達をチラホラ見掛け、それが目印となりコミュニケーションを取るきっかけとなる良いアイテムとなっていました。

ワークショップは路面電車駅近くのホテルの一室で開催され、縦長の部屋に椅子が縦長に並べられ、後方に座った



人は前方のスクリーンが見えない程の距離となっていました。このような場合は、中間付近にもスクリーンやモニターの設置があれば良かったのではないかと思います。

交流会は円卓1テーブルに9人程度の着座スタイルで自由席となっていました。会場真ん中前方にはステージと演台が用意され、その脇にスクリーンが設置されたレイアウトとなっていて、スペースも比較的余裕があり、歩き回っても窮屈さを感じない程でした。2次会は事前申し込み制で、会場近く（徒歩圏内）の居酒屋が貸し切り状態で大盛況となっていました。（定額飲み放題、お任せ料理付 \3,000-/人）

…青年委員会セッション他…（9/21 9:30～）

本会場（函館アリーナ）の一室で行われた青年セッションは3部構成となっていて、最初に各ブロック7名の代表者による地域実践活動の発表がありました。全ての発表が終わると休憩をはさみ、7地域に別れテーブルディスカッションがスタート。自分が興味を持ったブロックに自由に参加でき、より詳しい説明を聞き、更に突っ込んだ質問が出来る形式が取られ、それが2回ローテーションされました。その後は各自スマートフォンでweb投票を行い集計結果が出るまでの間、全ての地域を含めたパネルディスカッションが行われ、コーディネーターの誘導で裏話まで聞くことが出来た内容でした。最後に最優秀賞をはじめ各賞が発表されて青年セッションが終了。

その後式典まで時間があつたため、会場屋外広場に設営された昼食会場へ。仮設テント内で販売されていたウニ・イクラ丼と函館（地）ビールを購入し青空の下、テーブルに同席した他県の方々とコミュニケーションを取りながら美味しく頂きました。

（所感）

会場は主にスクリーンと演台、パイプ椅子で設営され、参加者用のテーブルは設けられていませんでした。メモ書き等は受付時に配布されたハードファイルを下敷きにする事で、十分に事が足りました。テーブル・パネルディスカッションも椅子の配置換え程度でやりくりされ、大掛かりな設備は使用されていないようでした。

室内環境は参加者が多かったせいか室温が高くなっていましたが、大会の粗品として頂いたウチワが大活躍してくれました。

昼食会場はテント下に設置されたテーブルが満席状態ではありましたが、会場が広く、そして屋台が少なく、閑散としていた印象でした。お土産売り場も屋外階段下の日陰にテーブルを並べ、看板も無くひっそりと販売されていた印象。昼食メニューのバリエーションは大まかに海鮮丼と寿司の二種。飲み物はビールのみ。麺類、ビール以外のアルコール類等もう少しバリエーションがあれば良かったと思います。中には最寄りの生協、コンビニへ向かう人も少なくなかったようです。（前日に行われたマグロ解体ショーが予算的に響いたとか…。1社に丸投げしてしまったことを含め、函館建築士会のスタッフが反省していました。）

…大会式典…（9/21 15:00～）

定刻通りに式典開始のアナウンスがあり、江差追分民謡からスタート。大きく挙げると挨拶、来賓紹介、表彰式、大会アピール、大会旗引継ぎといった一般的な流れで虎視眈々と進められ終了。

（所感）

恒例であるオープニングセレモニーは、個人的には大分大会でのチアリーダーのような会場全体が盛上るセレモニーの方が良いのではないかと思います。（京都：鉦始め、埼玉：箏曲）

式典は致し方ない部分がありますが、挨拶、祝辞、来賓紹介までがとにかく長く感じました。その反



面、時間短縮を図ったことか、表彰式では予め代表者全員が登壇させられ、パイプ椅子で待機という状況の中で進められました。表彰者にとっては晴れの舞台であり、そこは省略してはいけない部分であったのかなと思います。ただ、表彰状の内容をスクリーンに投影しながら進められた部分については良かったと思います。

会場の設営自体は相応であったと思いますが、壇上に設置された取外し式の手摺が顕わになっていたことが気になりました。バックの壁とテーブルは白布で覆われていたので、余計に存在感があり、他と同じ様に布で覆ってあげた方が、もう少し落ち着いた雰囲気を出せたと思います。

…大交流会… (9/21 17:30 ~)

埼玉大会同様、地域ブロック毎に円卓が用意され立食形式が取られました。ケータリングで予め対応された料理の他に、その場で調理されたイカ刺、ラーメン等も提供されました。進行は挨拶、乾杯、次期開催地 PR といった流れで終了。おもだったアトラクションは無く、食と歓談がメインとなった交流会でした。ただ、中締め前に函館建築士会のスタッフが登壇し、サプライズで地元名物イカ踊りのお披露目。会場全体を巻き込み、大盛り上がりにて幕を閉じました。

(所感)

立食形式は賛否両論あるかと思いますが、そこは参加者数、会場のキャパで選択するしかありません。大事なのは中身(進行)であり、おもてなしの心だと思っています。各テーブルには地元士会スタッフがアテンドとして1名配置され、テーブルのお世話、参加者とのコミュニケーションを積極的に図る等に務めているようでした。参加者としては、おもてなしされている感じがおり、印象が良かったと思います。

交流会の進行内容は一般的な流れだったと思いますが、式典と同じく開会から乾杯までの過程(挨拶)が長く、立食形式であるが故にそれは余計に長く感じました。

出された料理は一般的な物の他、焼き鳥弁当(実は豚肉)、チーズオムレット、ラッキーピエロのハンバーガー、函館ワイン等、函館名物品も提供され地元色溢れる内容だったと思います。

アトラクションについては、埼玉大会のようなジャズ演奏等はなく、終盤にサプライズで行われた函館名物イカ踊り程度。地元士会スタッフによると交流会は歓談を重視し、イカ踊りは最後に皆で盛り上がり、楽しく解散したいという思惑があったそうです。それでも全然もの足りなさは無く、本来の交流会としてあるべき姿だったのかもしれない。

会場は式典会場に隣接するサブアリーナで行われ、フローリング全体を養生シートで覆っていました。参加者人数が想定を上回ったのか、スペースに余裕はなく1テーブル当たりの人数も収まりきらない状況となり、円卓以外の空いているテーブルを探しては、そこで飲食している人も少なくなかった様です。また、音響に関しても反響音と、参加者の会話の音量に負けていたようで、挨拶含め聞き取れない状況となっていました。

…エクスカーショ… (9/22 9:00 ~)



A～Eまで5つのコースで設定されたルートの一つ、「函館の歴史的建造物街並見学（Aコース）」に参加しました。指定された集合場所で受付が成され、1グループ当たり20人程で編成され徒歩で目的地まで移動。各グループには参加者の他、地元士会スタッフ1名（アテンド）と地元（ボランティア？）ガイド1名が同行し、主にガイドの方が各所詳しく案内をしてくれました。全行程徒歩移動で3時間程を掛けて8施設を見学し、最後は赤レンガ倉庫群前での解散となりました。

（所感）

集合場所は指定された施設の外となっていて、スペースは十分余裕があったと思います。ただ、受付では自分の名前とCPD参加有無の確認がされただけで、資料も班編成の指示も無く、どこへ行けば良いのか分からず、その周辺で動きがあるまで待機していました。その後、アテンドの方が参加者の名前を呼び各グループへ誘導するも、待機場所の広さがあだになったのと、複数のアテンドの方があちらこちらで同時に点呼しだしたことで参加者もどこに行っているのかプチパニック、アテンドの方も点呼した人が集まらず大分苦戦する状況となっていました。（そんな私も名前がどこで呼ばれたのかさっぱり分からず、取り敢えず秋田県の人が多いグループに参加しました。）

中には、同じ地域（東京）から来て、今まで一緒に行動していた人が一方的に別グループに指定されたようで、ちょっとしたクレーム＆トラブルが発生していました。大分混乱していたようで、予定の出発時間が大分遅れていたと思います。改善策としては受付の際にグループ名を伝え、チョットした目印を立て集合場所を明確にしておけば、この件についての大部分が解消されていたと思います。また、受付から出発までの時間で、クレーム対応も十分にできたと思いました。



【全体的な所感】

今回の大会に参加し、思い返せば路面電車（市電）の存在が大きかったと思います。交通手段としては勿論のこと、函館の街をダイレクトに感じる事が出来る観光ツールとしても非常に良いものでした。次年度開催の広島にも路面電車があり、会場もその圏内のようなので、2年連続での路面電車の存在は非常に大きいのではないのでしょうか。当然シャトルバス運行等の経費も抑えられるはずですが、しかし、あきた大会にそれはありません。ましてや会場が分散されるなかで参加者にとっても負担は大きいと思われます。シャトルバス運行の他、駐車スペースの十分な確保等、来場される方々の考えられる交通手段を洗い出し、その対応をしっかり練っておく必要があると思います。

大会中の天気に関しても、3日間晴天に恵まれ気持ち良くイベントに参加させて頂きましたが、屋外でのイベントも多く、強風・豪雨に見舞われた4日目の天気を入れ替えて考えてみるとゾッとします。特にフォーラムとエクスカッションについては、イベントそのものが成り立っていたのであろうかとも思えます。きっと、想定外のトラブルも増えたと思います。上記同様、会場が複数となるあきた大会では、雨対策（雨天での進行方法）も十分に考えておく必要があると思います。10月下旬の開催でもあるため、追加して暖房対策も必要だと思えます。（暖かい地域から来る人も沢山いるので）

会場については、複数のセッションを1つの施設でやりくりする事に苦勞したようです。会場のキャパとしては6つのセッションを最大値と考えていたのに対して、連合会からの要望で結果的に8つのセッションをこなすことになったようです。同じ部屋を2回転させる等タイトなスケジュールでのやりくりし、相当苦勞したとの事で（特に、式典リハーサルの時間が十分に取れなかったと話していました）、

改めて余裕を持たせたスケジュール、タイムテーブルを考える必要があったと思います。また、止むを得ず人を詰め込む形になったとしても、避難経路の確保、避難場所の表示は施設に表示されたもの以外にも追加して、必要と考えます。(今回の大会では、避難経路である廊下に、協賛メーカーの展示ブースが設置され有効幅が狭くなっていたと思います。そういった部分も、建築士会としては手本となるべきところと思いました。)



第 62 回建築士会全国大会北海道大会に参加して

(一社) 秋田県建築士会 女性副委員長 清水川 道子
(実行委員会：会場行事委員会)

9月20日(金)快晴!全国大会の開催地である北海道函館へ。わが雄勝支部からは7名参加。

大曲駅から新幹線「こまち」「はやぶさ」を乗り継ぎ新函館北斗駅、さらに「快速はこだてライナー」で函館駅へ。私は青函連絡船で往復した時代の旅行以来なので、函館は遠いというイメージがどこかに残っていたのですが、新幹線のおかげでしょうね、函館は思いのほか近く感じられました(笑)。

函館駅に初めて降り立ち駅前の第一印象!空気がとっても澄みきって気持ちいい!青空は目に見えてわかるほど透明感がある。ここから過ごす函館の3日間に期待がふくらみました。

この日の午後は支部の仲間と共に行動・見学をした。海鮮井でおなかを満した後、立待岬～函館山～元町教会群～金森倉庫～五稜郭、大型タクシーを借り切つての見学は、仲間と同じ時間や空間を共有しコミュニケーションがとれたことが貴重な時間だったと思います。また、観光地で慣れているとはいえず運転手さんの細やかなこころくばり。一日目にして函館の印象がアップしました。

9月21日（土）全国大会当日。9時に会場の函館アリーナで受付をすませ、10時からは歴史まちづくりセッション／ヘリテージマネージャー大会に参加。「歴史的建物を使い続ける」と題して北海道3地域5名のパネリストから用途の異なる建物の事例発表等を聴講。その後、昼食は飲食ブースから「いかめし」を購入。事前に弁当を注文していた方々が同じテーブルで食べていたので、今後の参考までに「中身はどんな感じかなあ」と横目で見ながら……いかめしを食べました（笑）。

昼休みの間に、記念展示コーナーへ。今年の7月東京で開催された全国女性建築士連絡協議会の内容がパネルで展示されています。わが秋田県発表の「活動報告」パネルも確認してきました。

13時からは「記念講演」。「Between Nature and Architecture」と題して北海道生まれの藤本壮介氏の講演。藤本氏は海外でも活躍し数々の国際コンペで業績をもつ方で、その作品の紹介をしていただきました。「建築として成り立つの？」と思うような外観は建物と自然を融合した大胆なデザインで驚きです。藤本氏の哲学がその建物を表現するうえで色濃く表われている。そのことは丁寧な話し方の中に感じとることが出来ました。全国大会でないといけないスケールの内容でした。



（船をイメージしたという・函館駅）



（函館山にて）

15時から「Re + 明日のまちに輝きを」の大会テーマのもと大会式典が行われ、オープニングセレモニーは「江差追分会」の方々。参加人員は2,880名との発表でした。各表彰式の後、来年開催の広島県の大会アピール。広島の建物や美しい風景などが、柔らかい女性ボカルのBGMで大型スクリーンに映し出されました。映像と美しいメロディラインがあいまって胸にじ〜んと響き熱くなりました。映像自体はプロが作成したものでしょうが、広島県の建築士の方々の御苦勞が映像に凝縮されているように感じ「ここまでたいへんだったろうな」という気持ちがどっと湧いてきました。

17時半からの「大交流会」は、丸テーブルでの立食形式。今年は各テーブルに北海道の建築士の方々がホスト役に付いてくれました。料理のサービスをしてもらったり会話を楽しんだり。料理は「いかソーマン」を始めとする地元の海鮮を始め、ソウルフードといわれるハンバーガーや焼き鳥弁当なるものまで。その地域に根ざした食文化も楽しめました。大交流会はなかなか会えない数少ない他県の女性建築士の方々と交流する事が出来るいい機会です。この時とばかり再来年の秋田での全国大会のアピールもすることが出来ました。

9月22日（日）はエクスカッション。「函館の歴史的建造物街並見学コース」を選択。9時に函館市地域交流まちづくりセンターに集合し、観光ガイドの方に案内してもらいました。この辺りには19もの坂があるそう。東本願寺函館別院→元町教会群→旧北海道庁函館支庁庁舎（函館市元町観光案内所）→旧相馬邸→旧イギリス領事館など歩き続けて約3時間。坂を上がったり下がったりして12時解散の赤レンガ倉庫群まで、一つ一つの建物の内容が濃く見ごたえのあるエクスカッションでした。

函館はどの風景を切りとってもドラマチックで…。また訪れてみたいと感じさせられる街でした。

令和3年10月全国から秋田に建築士の仲間がやってきます。皆の思いを結集してこそ「魅力ある秋田」

を感じてもらえるのではないのでしょうか。私がじーんと熱くなったように（笑）。



(オープニング・江差追分にあわせ 船を漕ぐしぐさ)



(坂のある風景・八幡坂)



(来年開催 広島県のアピール)



(エクスカーション・建物は五島軒)

6名の視察者の皆様、たいへんありがとうございました。

「あきた大会」まで、あと二年を切りました。準備等もいよいよ、佳境に入って参ります。会員皆様のご理解とご協力、よろしくお願いたします。

会 務 報 告

(令和元年8月～令和元年12月)

- | | | | |
|-----------|---|-----------|--|
| 8月1日(木) | 第64回建築士会全国大会あきた大会
事業受託希望者プレゼン開催 於：
ユースパル | 10月25日(金) | 第33回「秋田の住宅コンクール」審査
会へ、草薙青年委員長出席 於：秋田
キャッスルホテル |
| 8月27日(火) | 令和元年度東北ブロック会「建築士試
験等連絡会議」へ、植田事務局長出席
於：仙台市
令和元年二級建築士学科試験合格発
表。合格者43名 | 10月28日(月) | 秋田県文化功労者表彰式 秋田県地方
自治功労者表彰式へ、淡路会長出席
於：秋田県庁「正庁」 |
| 8月28日(水) | 既存住宅状況調査技術者講習「新規講
習」開催 受講5名 於：秋田市文化
会館 | 11月2日(土) | 令和元年度第24回(一社)岩手県建築
士会青年大会へ草薙青年委員長出席
於：岩手県 |
| 8月29日(木) | 令和元年度事務局職員研修会開催
於：アトリオンビル | 11月7日(木) | 一級・二級・木造建築士定期講習開催
受講84名 於：大仙市大曲交流セン
ター |
| 8月30日(金) | 令和元年度被災建築物応急危険度判
定・連絡訓練へ、事務局員参加 於：
秋田県建築士会 事務局 | 11月9日(土) | 第33回秋田の住宅コンクール表彰式
へ、淡路会長出席 於：秋田市にぎわ
い交流館
第32回(一社)山形県建築士会青年大
会へ、工藤連合会青年委員、草薙青年
委員長出席 於：山形県 |
| 9月6日(金) | 第36回青年の集いへ、草薙青年委員長
出席 於：福島県 | 11月14日(木) | 令和元年度木材利用提案コンクール審
査委員会へ、淡路会長出席 於：秋田
市文化会館 |
| 9月10日(火) | 令和元年一級・木造建築士学科試験合
格発表。合格者19名 | 11月16日(土) | 秋田県建築士会大会秋田中央大会開催
於：パーティギャラリーイヤタカ |
| 9月15日(日) | 令和元年二級建築士製図試験実施 受
験者78名 於：秋田市文化会館 | 11月17日(日) | 現場見学会開催 於：五城目町 |
| 9月20日(金) | 第62回建築士会全国大会北海道大会連
合会理事・士会長合同会議へ、淡路会
長出席 於：北海道 | 11月19日(火) | 令和元年度中間会計監査開催 於：ル
ポールみずほ |
| 9月21日(土) | 連合会「第62回建築士会全国大会(北
海道大会)」へ、淡路会長外出席 於：
北海道 | 12月5日(木) | 令和元年二級建築士及び木造建築士製
図試験合格発表。二級合格者24名 |
| 9月26日(木) | 令和元年度第3回理事会開催 於：ル
ポールみずほ | 12月13日(金) | 令和元年度第4回理事会開催 於：秋
田アトリオンビル |
| 10月2日(水) | 一級・二級・木造建築士定期講習開催
受講44名 於：北秋田市交流セン
ター | 12月16日(月) | 令和元年度東北ブロック会総会及び会
長会議へ、淡路会長、植田事務局長出
席 於：仙台市 |
| 10月6日(日) | 女性委員会東北ブロック会視察・見学
会へ、照井副会長出席 於：横手市 | 12月18日(水) | 令和元年度東北ブロック会「まちづく
り委員会」へ、高橋まちづくり委員長、
鈴石まちづくり委員出席 於：仙台市 |
| 10月13日(日) | 令和元年一級建築士製図試験実施 受
験者34名 於：秋田県JAビル | 12月19日(木) | 令和元年一級建築士製図試験合格発
表。合格者9名 |
| 10月17日(木) | 第64回建築士会全国大会あきた大会第3回
総務・式典部会開催 於：ユースパル | | |

令和元年8月～令和元年12月

地域会だより

○鹿角建築士会

令和元年度

- 9月1日 第1回青年委員会開催（参加者5名）
9月15日 かづの元気フェスタ準備
（参加者10名）
16日 かづの元気フェスタ
（於：鹿角スポーツセンター）
・模擬上棟式 木組作業の後、子供参加の上棟式を開催。
・来場者へ「餅まき」を模した菓子まきを開催。
・木工体験コーナー 親子参加で木工製品製作
・木とのふれあい体験コーナー
（鹿角建設技能組合青年部鹿角十和田建設技能組合青年部合同）
（参加者10名）
11月16日 秋田県建築士大会（秋田中央大会）に参加（於：パーティーギャラリーイヤタカ）
記念講演「都市と風景とまちのディテール」
（秋田公立美術大学 景観デザイン専攻 教授）
トークセッション「あきたの魅力とは？」
（福祿寿酒造(株) 渡邊氏・(株)せん 松岡氏）（参加者6名）
11月17日 建物見学会 福祿寿酒造・HIKOBÉ・アートギャラリー「ものかたり」
（参加者2名）
11月17日 世界文化遺産登録推進シンポジウムに参加（於：横手プラザホテル）
講師 中村 大（立命館グローバウイノベーション研究機構助教授 ほか「最新の研究成果から見てきた縄文時代の環境と生活」）（参加者1名）
11月27日 令和元年度鹿角市空き家対策協議会に

参加

- ・秋や候補建物の現地調査結果について
- ・空き家等の適正管理に関する条例改正案について
- ・危険老朽空き家除却費支援助成金の執行状況について（参加者1名）

○大館・北秋田建築士会

令和元年

- 9月20～22日 第62回建築士会全国大会北海道大会
於 北海道函館市
参加 13人
10月9日 大館歴史的建造物研究会
於 大館市中央公民館
・料亭末廣調査報告書について
・比内町調査について
出席 7人
26日 比内町歴史的建造物調査
於 比内町全域
参加 9人
11月13日 大館歴史的建造物研究会
於 大館市中央公民館
・比内町歴史的建造物調査のまとめ方について
・「高山豊年稲荷神社」の調査について
出席 7人
16日 第44回 秋田県建築士会大会秋田中央大会
於 秋田県秋田市
参加 7人
17日 令和元年度 優良建築物見学会
於 秋田県五城目町
参加 11人
23日 「高山豊年稲荷神社」調査
於 高山豊年稲荷神社
出席 7人
30日 第2回 大館市ヘリテージマネー

ジャーステップアップ講習会

・講習1「歴史的建造物の修理と修景」

講師：増田まちなみ研究会 会長
鈴石 博実氏

・講習2「横手市歴史的建造物修理技術者講習について」

講師：増田まちなみ研究会 事務局
長 高荒 宏一氏

於 大館市中央公民館

出席 28人



○秋田中央建築士会

令和元年度

9月18日 事業委員会 令和元年度 建築士大会秋田中央大会及び見学会について (於 センターズ)

9月21日 第62回 建築士会全国大会「北海道大会」(25名参加)



10月5日 女性部会 第2回学習会 (4名参加) (県) 親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」IN横手



10月6日 女性部会 東北ブロック会視察・見学会INあきた (5名参加)

1. 羽黒町街並み
2. 昨雪軒
3. 旧日新館
4. ゲストハウス平源
5. 満福寺

○能代山本建築士会

令和元年

10月5日 親子体験学習会IN横手
気持ちのいい家を作ろう 来年開催地域として4名参加

6日 平源、満福寺 見学会 3名参加

11日 令和元年度第2回理事会 居酒屋「若大将」 理事9名出席

24日 青年部奉仕活動～金勇清掃 9名参加

11月10日 第2回建築相談会開催 サンウッド能代 会議室
3名参加

16日 県大会 秋田中央大会 6名参加

17日 県大会 見学会 4名参加



6. その他

- 10月24日 三役・事業委員会・青年委員会
令和元年度 建築士大会秋田中央大会
及び見学会について
(於 センターズ)
- 11月16日 第44回 (一社) 秋田県建築士会大会
秋田中央大会 (36名参加)
(於 パーティーギャラリーイヤタカ)



- 11月17日 令和元年度 (一社) 秋田県建築士会
優良建物見学会 (32名参加)
・福祿寿酒造
・リノベーションカフェ HIKOBE
・アートギャラリー「ものかたり」

○由利建築士会
令和元年

- 9月18日 ●第1回理事会 於 本荘由利地域職
業訓練センター
・今後の建築技術研修
・市民祭り担当及び詳細について
・全国大会について
出席者13名
- 9月21日・22日
●全国大会研修旅行 於 北海道函館
市 函館アリーナ
・式典参加
・函館周辺研修
出席者11名
- 10月5日 ●建築相談会、木工教室 於 伊藤建
具製作所
・市民祭りでの木工教室の木材加工
出席者 6名
- 10月19日 ●建築相談会、木工教室 於 カダーレ
・市民祭りでの建築相談会、木工教室
4時間程で50脚の椅子を作成・販売(1
脚当り300円)

出席者7名

- 11月11日 ●第1回青年委員会
於 支部事務局
・令和元年度青年委員会事業について
出席者 6名





○仙北建築士会

令和元年

- 8月11日 第2回空き家無料相談会 仙北地域振興局主催
(会場：仙北市角館交流センター) / 小田島会長出席
- 9月21日 建築士会全国大会 北海道大会 / 15
～23日 名参加



- 10月19日 大仙市秋の総りフェアに参加 / 青年委員
～20日 「木でつくろう！スマホスピーカー
木工体験」
- 11月2日 第3回空き家無料相談会仙北地域振興局主催
(会場：大曲交流センター) / 湊常任理事出席
- 11月7日 建築士定期講習会 県南地区開催手伝

い / 湊常任理事

- 11月16日 第44回 (一社) 秋田県建築士会大会秋
～17日 田中央大会 / 6名参加
見学会 / 4名参加
- 11月25日 第3回常任理事会、第2回理事会 大曲職業訓練センター
講習会及び新年会について / 14名出席
ペアーレ住宅講座について
全国大会あきた大会について
会費納入状況について
ニュース広告について
空き家無料相談会の報告について

○横手建築士会

令和元年

- 9月11日(水) 第2回理事会
14:00～15:00 サンサン横手

1) 会務報告

(県本部)

- ・令和元年度提示会員総会 6月21日(金)
- ・全国大会委託業者選定委員会 7月22日(月)
- ・全国大会委託業者プレゼン 8月1日(木)

委託業者決定：JTB秋田支店(横手)

- ・年会費報告
- ・新会員2名、新賛助会員2社
新会員：高橋康裕、佐藤雪菜(横手建設)
新賛助会員：セキノ興産横手支店、小松木工

2) 議題

- ① 第60回建築士会全国大会函館大会
9月21日 参加人数8名

来年広島大会 11月14日 横手からは10名以上

- ② 女性部 東北ブロック会視察・見学会について

増田現場見学会 10月6日(日)
横手建築士会女性部会 親子体験学習事業について

「気持ちのいい家を作ろう」IN横手
10月5日

③第64回建築士会全国大会あきた大会
エクスカーション見どころ募集

④その他

次回理事会 1月22日(水)

令和2年度総会 担当：横手南、山内

4月11日(土)

令和3年度総会 担当：横手北

○湯沢雄勝建築士会

令和元年

◇ 第62回建築士会全国大会「北海道大会」

◇ 函館研修旅行

日 時 9月20日(金)～22日(日)

参加者 7名

伊藤一氏が連合会会長表彰を受ける

研修旅行を兼ね、函館市内の重要文化財を見学

◇湯沢市

「歴史的建造物探訪イベント見学会・講演会」

日 時 9月28日(土) 8:30～17:00

参加者 案内スタッフとして6名参加

◇湯沢市

「国登録有形文化財山内家住宅」一般公開

日 時 10月5日(土) 10:00～15:00

参加者 案内スタッフとして6名参加

◇ 第44回(一社)秋田県建築士会秋田中央大会

大会テーマ「あきたの魅力 再発見」

日 時 11月16日(土) 13:30～

場 所 パーティーギャラリーイヤタカ

参加者 8名

新入会員紹介

新入会員からのメッセージ



湯沢雄勝建築士会
本間 昌太

2019年4月より株式会社三友建築所に入社いたしました。

幼少期は横堀で育ち、その後東京で15年ほど修行を積み、また秋田に戻ってまいりました。

前職は現場管理をしておりましたので、設計・監理についてはまだまだ未熟ですが、建築士会及び、秋田の発展に尽くしていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

皆さまの合格実績に支えられ

おかげさまで
50
Anniversaryth
since 1969



結

令和の新時代も
努力を結果に結びつける

1級建築士 合格実績
No.1

日建学院 平成30年間の合格実績 (1989年~2018年)
1級建築士 90,284人 (全国累計 158,307人*)
当学院の1級建築士 合格者占有率
57.0%
平成の30年間に誕生した1級建築士の 半分以上が日建学院生です!
2級建築士累計 142,565人 宅建士累計 91,008人

*上記全国累計は(公・財)建築経済教育普及センター
発表記録集(1989~2018年)のデータです。

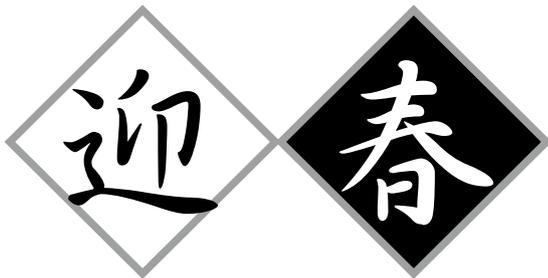
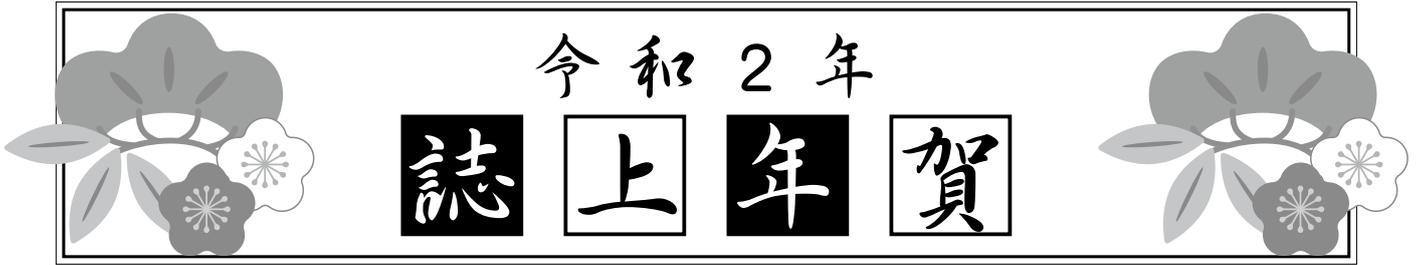
あなたの夢、応援します。

日建学院

資料請求・各種お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ!

秋田校 TEL.018-801-7070

〒010-0001 秋田県秋田市中通6-7-9 秋田県畜産会館2F



2020

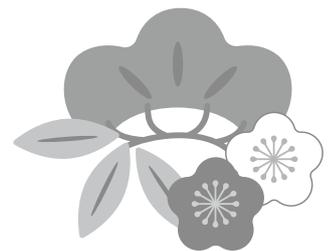
新春を迎え平素のご厚情
を深謝し、皆様のご健康
とご多幸をお祈り申し上
げます。



一般社団法人 秋田県建築士会

〒010-0001
秋田市中通2-3-8アトリオン5階
(一財)秋田県建築住宅センター内
TEL 018-827-3718
FAX 018-827-3873

- | | | | |
|-------|---------|-----------------|-------------|
| 会 長 | 淡 路 孝 次 | 理 事 | 小 原 正 明 |
| 副 会 長 | 田 仲 雅 美 | 櫻 庭 星 治 | 正 星 治 |
| | 照 井 郁 人 | 正 木 和 美 | 和 美 正 美 |
| | 石 川 成 誠 | 湊 池 泰 美 | 泰 美 樹 臣 |
| 専務理事 | 小田島 誠 | 菊 山 脇 藤 博 | 博 臣 涉 喜 子 |
| 常務理事 | 柳 沢 富美男 | 山 工 藤 雅 一 | 雅 一 道 純 昭 宏 |
| | 高 橋 幸 治 | 草 薙 藤 橋 川 西 谷 根 | |
| | 佐 藤 隆 志 | 青 年 委 員 長 | |
| | 児 玉 安 広 | 同 副 委 員 長 | |
| 理 事 | 鳥 渴 宏 一 | 女 性 委 員 長 | |
| | 大 高 一 勇 | 同 副 委 員 長 | |
| | 櫻 庭 徹 則 | 監 事 | |
| | 赤 川 孝 則 | | |



謹賀新年

令和2年元旦

鹿角建築士会

住所 〒018-5334 鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1 十和田建築設計事務所内
TEL 0186-30-3500 FAX 0186-30-3600

顧問 相談 会副 会総 理 監	問役 長 副 理 事 事 事	阿柳 神 戸 高 安 戸 阿 田	部部 沢 田 館 屋 保 館 部 中	秀正 富美 幸康 廣 康 悦 教	一一 男憲 博美 尊博 郎雄	和 大 中	田 森 昇 純	寛 治 悦	石 川 典 男	金 澤 一 美	湯 金 瀬 澤 芳 宏 夫 樹	佐 兄 藤 玉 重 安 則 宏
--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------	--	------------------------------------	----------------------------	-------------	------------------	-------------	------------------	------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

謹賀新年

令和2年元旦

人が集う快適空間づくり



屋根・壁・鋳り工事
スノーガードK（流体振動板式雪庇切）
製造・責任施工

株式会社 **キムラ鋼板**

本社／鹿角市花輪字柳田20-1／fax/0186-23-2693

☎0186-22-1213

謹賀新年

令和2年元旦

設計・監理

 中西建築設計事務所

主宰 中西純悦

秋田県鹿角市花輪字柴切田15-3
PHONE 0186-22-1400
FAX 0186-22-4025



謹賀新年

令和2年元旦

建築・設計・施工
リフォーム・コンサル業務

株式会社 **創企画**

〒018-5334
秋田県鹿角市十和田毛馬内字押出35-3
TEL. 0186-35-2470
FAX. 0186-35-2733
E-mail:som99cs9@ivy.con.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦

理想の住まいづくり私たちがお手伝いします！



有限会社 大晋建設

注文住宅・リフォームお任せください



〒018-5336 秋田県鹿角市十和田錦木字下田面29-1
TEL0186-35-3060 FAX0186-35-4738
<http://www.ii-ie.net/daishin>

謹賀新年

令和2年元旦

設計監理

有限会社 阿部設計

代表取締役 阿部 秀一
管理建築士 児玉 安広

事務所 / 〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字下夕町212-12
TEL 0186-23-7211 FAX 0186-23-7212

謹賀新年

令和2年元旦

鋼材, 鉄鋼二次製品, 新建材, セメント, 生コン
石油製品, 農業資材, 食料品, 米穀集荷販売

株式会社 大里恒三商店

秋田県鹿角市花輪字下花輪82
電話〔0186〕本店(代)②1228 FAX②1224
石油部本店 高井田給油所(代)③2651 FAX②2738
一中前給油所 ③2987
市役所前給油所③5611
十和田給油所 ③52638

謹賀新年

令和2年元旦

Original Frame & Urethan Panel



ウレタン断熱のバイオニア

人と地球に
やさしい家

総合建設業 株式会社 田中建設

代表取締役 田中 教雄

秋田県鹿角市花輪字大川添26番地
TEL (0186) 22-0774(代)
URL: <http://www.fp-group.gr.jp/tanaka-kensetsu>
E-mail: tanaken@ink.or.jp

謹賀新年

令和2年元旦

大館・北秋田建築士会

住 所 〒017-0046 大館市清水一丁目5-4 (有)石川建築内
T E L 0186-42-2065 F A X 0186-42-1943

顧問	福原淳嗣	津谷永光	伊藤和博	畠山光由	清水 敬
相談	松岡川	田中	石田起	石山清武	
会長	石川	小笠原	三浦英人		
副会長	石島				
専務理事	鳥山	斎藤	留美子	松橋	子光司
常務理事	小賀	奈良	勝正幸	幸三	雅金
理事	加賀	佐藤	藤雄	三浦	雅金
監事	安達	赤平	一雄	長谷部	武石
	信濃屋			大智	高熊
					田谷
					敏昌
					雄剛

謹賀新年

令和2年元旦

いつもそばに 地域と共に … 未来へ



取締役支店長 松澤清美

- 大館支店 〒017-0878 大館市川口字上野85-1
TEL 0186-43-2233 FAX 0186-43-2232
- 能代営業所 〒016-0884 能代市卸町2-7
TEL 0185-54-2602 FAX 0185-54-8458

謹賀新年

令和2年元旦

床材の決定版
環境にやさしい天然素材

床材・壁材・階段材・カウンター (JAS認定工場)

藤島木材工業株式会社
藤島林産株式会社

☎018-3301 北秋田市綴子字田中下モ31
TEL 0186(62)0390~1
FAX 0186(62)0392

謹賀新年

令和2年元旦



おかげさまで会社設立137年
建設から暮らしまで



株式会社角弘大館支店

☎017-0044 大館市御成町一丁目16番10号
支店長 柴田 望
TEL0186-42-3041 FAX0186-49-0985
URL <http://www.kakuhiro.co.jp/>

謹賀新年

令和2年元旦

人のそばに、夢のそばに。

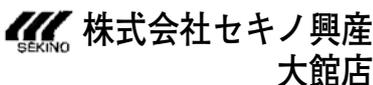


〒017-0838
秋田県大館市山館字八幡下150
TEL 0186(42)7521
FAX 0186(42)7520
URL <http://www.yamani-ks.co.jp/>

謹賀新年

令和2年元旦

屋根・壁・太陽光発電…創エネで未来をリード



〒017-0836
秋田県大館市池内字中台300
TEL (0186) 42-7611
FAX (0186) 42-7613

謹賀新年

令和2年元旦

工事は地元の信頼できる
工務店にお任せ

〈住まいづくりに奉仕する〉



代表取締役 三浦 功 達

〒017-0031 大館市上代野字上代野5-1
TEL 0186-48-5811
FAX 0186-48-5814



謹賀新年

令和2年元旦

能代山本建築士会

住所 〒016-0845 能代市通町1-16 サクラバ設計内
TEL 0185-53-5667 FAX 0185-74-6020

顧問 熊谷 勝
相談 佐々木 政幸
会 長 長門 村田 宣
副 理 藤 田 徹
監 事 潤三 勇 徹 見 一 郎 喜
中松 大 櫻 西 佐 相 加
田谷 高 庭 方 藤 原 藤
福 里 友 勇 一 次

永 井 儀 博 幸 坂 誠
今 井 浩 一 池 田 佐 保

謹賀新年

令和2年元旦



設計集団 **環** 協同組合

代表理事 佐藤 友一

〒016-0811 秋田県能代市日吉町20-25
TEL0185-55-0022・FAX0185-55-0023

謹賀新年

令和2年元旦

ISO9001認証取得



代表取締役社長 中田 潤

本 社 〒010-0951 秋田市山王五丁目9番2号
TEL018(864)3211(代) FAX018(864)3216
能代本店 〒016-0804 能代市万町4番29号
TEL0185(54)3911(代) FAX0185(55)0226

謹賀新年

令和2年元旦

総合建設業



代表取締役 佐藤 磨

本 社 / 秋田県能代市字高埜65番地
TEL0185-55-3110 FAX0185-54-4713
秋田店 / 秋 田 市 泉 馬 場 6 - 10
TEL018-869-7330
<http://www.sannwa.co.jp>

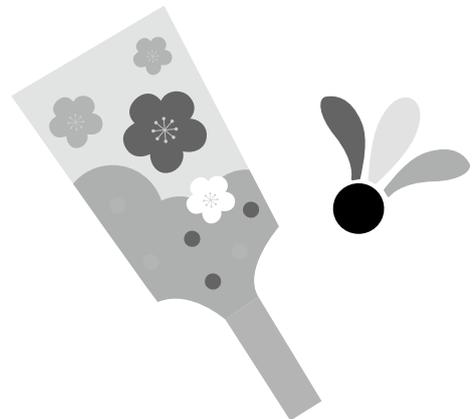
謹賀新年

令和2年元旦

建築工事・不動産

熊谷建設(株)

〒016-0015
秋田県能代市須田字屋布添76番地
TEL0185-54-4600
FAX0185-54-4107



謹賀新年

令和2年元旦

秋田中央建築士会

住所 〒010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル5F
TEL 018-836-7850 FAX 018-836-7852

相談役	淡土田加伊赤北竹畑伊	路田仲藤藤川嶋田山藤	孝久美 久雅一 加孝一 青広	次子美成子則美子英師	工湯 櫻	藤沢 庭	晴隆 星	治市 治	小竹 哲夫	鈴木 玲子	高橋 智徳
会長								朗人裕明	一展美輔	友藤村松	正浩
副会長								植佐々 谷樋	田木口渡	大佐西若	明樹崇
理事									満州裕	笑一聖博	
監事										小鈴能	原木上

謹賀新年

令和2年元旦

Akita Association of Architectural and Design

一般社団法人 秋田県建築士事務所協会



会長 村田 良太 (有村田弘建築設計事務所)
副会長 渡邊 啓宇 (株草階建築創作所)
副会長 赤平 一雄 (赤平建築設計事務所)
副会長 菅原 文雄 (株長岐建築設計事務所)
専務理事 松橋 孝則 (株松橋設計)
理事 一同

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番7号 東カンビル6階
電話 018-865-1225 FAX 018-865-1293
URL: <http://www.akitafao.jp> Email: akitafao@cocoa.ocn.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦

秋田県建築物定期報告調査・検査協会

本会は、建築基準法12条の規定に基づく建築物の調査・検査者として活動している有資格者で組織されております。建築物の調査・検査の業務を行なっている方は、是非入会ください。

事務所 〒010-0953 秋田市山王中国町10-33 TEL 018-865-1540 (FAX 兼用)

【役員】

会長	田松	中橋	寿一	相談役	三平	光一
副会長	松松	橋塚	孝則	”	鈴木	誠一
理事	信濃	屋辰	久雄	理事	柳谷	信一
”	嶋早	崎山	美平	”	熊納	佳一
”	高橋	高橋		”	加邊	啓宇
監事				監事	渡邊	

謹賀新年

令和2年元旦

建築物の中性化・損害補修から予防保全まで

リフリート工法

調査・検査・診断から施工そして完了まで
— システムチェックに推進 —

秋田県リフリート工法施工技術協会

事務所 秋田市外旭川字田中6番地 TEL 018-862-5484

調査と診断工事のご依頼は……
リフリート (検査) **リフリート工協会**

(会 員 名 簿)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社加賀町電機	018-845-1247	株式会社フジベジ	018-866-2235
株式会社黒澤塗装工業	018-835-1084	有限会社藤森塗装	018-834-9064
栄建設株式会社	018-847-2901	丸谷塗装工業株式会社	048-823-8581
三建塗装株式会社	018-862-5484	株式会社三國	018-884-8888
株式会社クアベシ	018-823-1373	有限会社環清工業	0183-72-0058
株式会社志洋社	018-888-9200	有限会社久保上左衛門	0183-73-4140
株式会社ナカセシ	018-339-6110	岡左衛門工業株式会社	0188-29-1660
有限会社美工業塗装工業	018-818-0145	株式会社アールシー・テック	018-853-1609
平野塗装工業株式会社	018-863-8555		

工事施工にあたってはリフリート工法施工管理士を置き、責任ある施工管理のもとで施工致します。

謹賀新年

令和2年元旦

(一社)日本塗装工業会会員 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会会員
外壁改修工法リフリート工業会会員 NETIS 登録番号 KTK-15007-A

三建塗装株式会社

代表取締役 飛鳥 淳

本 社 秋田市外旭川字田中6番地
TEL 018 (862) 5484(代)
FAX 018 (862) 5564
URL : <http://www.sankenpaint.com>

大仙支店 大仙市戸地谷字川前359番地
TEL 0187 (63) 8035
FAX 0187 (63) 8036

謹賀新年

令和2年元旦

生活を豊かに ゆとりの生活を

総合建設業



株式会社 **英明工務店**

代表取締役 加藤 憲成



MISA - OS-4261
MISA - ES-1478
MISA - SS-234

登録範囲：土木構造物の施工

住所／秋田市新屋船場町6番53号
TEL 018-862-6850 FAX 018-862-5488
E-mail : eimei@amn.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦

代表取締役 足利 健



総合建設業

株式 **足利工務店**

〒019-2601
秋田市河辺和田字岡村239
電話／018-882-2059・ファックス／882-2153
仙台営業所
仙台市宮城野区鶴巻2丁目3-43
TEL.022-781-6301 FAX.022-781-6302

謹賀新年

令和2年元旦



総合建設業／一級建築士事務所

株式会社 長谷駒組

代表取締役 長谷川尚造

〒010-0013 秋田市南通築地8-10

TEL. 018(834)5445(代) FAX. 018(834)5437

謹賀新年

令和2年元旦



株式会社 北日本建築検査機構

代表取締役 國安恵子

- 建築基準法に基づく指定確認検査業務
- フラット35 (適合証明)
- 住宅性能表示

〒010-0029

秋田県秋田市橋山川口境13-7

TEL 018-884-0071

FAX 018-884-0072

E-mail info@kbo.co.jp

謹賀新年

令和2年元旦

技術と信頼で明日を拓く

互大設備工業株式会社

代表取締役 脇屋憲一

本社 秋田市添川字境内川原228-27

☎018-833-9270

謹賀新年

令和2年元旦

金子サッシ

株式会社 KANEKO

代表取締役 田村伸一

〒010-1617

秋田市新屋松美ガ丘東町2番15号

TEL(018)863-1717 FAX(018)863-9234

謹賀新年

令和2年元旦

電気・電気通信・消防施設・機械器具設置・設計施工

羽後電設工業株式会社

代表取締役社長 七山慎一

●本社／秋田市八橋イサノ二丁目15-25 ☎(862)4953 FAX(863)0109

●営業所／横手☎(32)3717・大曲☎(62)2675・大館☎(43)0778

男鹿☎(35)2282・本荘☎(22)5599・湯沢☎(72)8611

仙北☎(43)2018

謹賀新年

令和2年元旦

東部ガス

東部ガス株式会社 秋田支社

取締役支社長 高橋秀則

〒010-0029

秋田市橋山川口境1番1号

TEL : 018-832-6595 FAX : 018-832-2116

謹賀新年

令和2年元旦

屋根工事・板金工事・ステンレス金物工事施工
ENEOS JXTG エネルギー災害対応型中核給油所

石井商事株式会社

代表取締役社長 石井 広 樹

本社・工事部 / 南秋田郡八郎潟町川崎宇屋寝17-4
TEL 018(875)2431・FAX 018(875)4245
ガソリンスタンド / 南秋田郡五城目町大川大川字大堤41-1
TEL 018(875)2620

謹賀新年

令和2年元旦

鷺・土木工事一式
 門間工業有限会社

代表取締役 石 川 明 仁

南秋田郡井川町今戸字イナリデン3の4
TEL 018(874)2429
FAX 018(874)3922

謹賀新年

令和2年元旦

清く  初心51

ミナミ建材株式会社

〒010-0001 秋田市中通五丁目6番17号
TEL (018) 835-0035
FAX (018) 832-6130
E-mail info@minami-kenzai.com



謹賀新年

令和2年元旦

株式会社
渡辺佐文建築設計事務所

〒010-0954 秋田市山王沼田町6-8
TEL.018-863-8431 FAX.018-863-8432

謹賀新年

令和2年元旦

一般社団法人 秋田県空調衛生工事業協会

会 長 阿 部 公 雄
副会長 川 間 政 男
副会長 佐 藤 裕 之
副会長 遠 田 博 士

秋田市山王臨海町3-18 TEL (018) 824-7761

謹賀新年

令和2年元旦



一般社団法人
秋田県設備設計事務所協会

会 長 長谷川 正 一
副 会 長 酒 田 静 雄
副会長兼専務理事 岸 和 章

〒010-0951
秋田市山王 3-1-7 東カンビル 7F
TEL018-863-7156 FAX018-863-7127

謹賀新年

令和2年元旦

総合建設業



株式会社 林 工 務 店

代表取締役 林 明夫 専務取締役 林 徳彦 常務取締役 林 康夫

秋田市土崎港南一丁目14-37 ☎ 018(845)1863 ・ FAX 018(845)6930

謹賀新年

令和2年元旦

設計・監理 一級建築士事務所
株式会社 クリエイテブライフ



代表取締役 淡路 孝次

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田266-2
TEL 018-868-5352 FAX 018-868-5348
E-mail creativelife@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦

一般社団法人

秋田県電業協会

会長 松澤 國彦

副会長 鈴木 浩 副会長 齋藤 聡 副会長 渡辺 政道

〒010-0951 秋田市山王三丁目1-7 (東カンビル7F)
TEL 018(893)4345 FAX 018(893)4367

謹賀新年

令和2年元旦

信頼と技術に真心こめて

株式会社 水原工務店

代表取締役 阿部 幸雄

本社 〒010-0952
秋田市山王新町 18-15
☎018-862-2601 (代)
FAX018-866-0121

謹賀新年

令和2年元旦

一級建築士事務所

有限会社 村田弘建築設計事務所

代表取締役社長 村田良太

■本社

〒010-0971 秋田市八橋三和町18番15号
TEL 018-823-4345(代)
FAX 018-823-4328
<https://www.mrt-arch.co.jp/>

謹賀新年

令和2年元旦

総合電気設備、設計・施工

時田電機工業株式会社

代表取締役社長 時田 祐司

本社 〒010-0001
秋田市中通六丁目3番30号
TEL (018)832-8415(代)
FAX (018)834-0446

謹賀新年

令和2年元旦

ホームページ



長尺立平葺屋根

5&W工法

通し吊子一体型の水密性に優れた縦葺工法



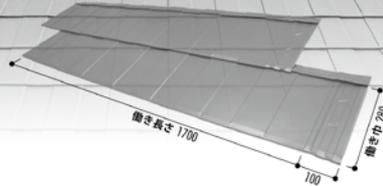
屋根・壁・太陽光発電・・・創エネで未来をリード!

セキノ興産

定尺横葺屋根

柱目FLEX

“柱目”を連想させる斬新なデザイン



株式会社 セキノ興産 秋田店

☎ 018-880-2323 FAX 018-880-2221

〒011-0916 秋田市飯島字穀丁大谷地 1-7

謹賀新年

令和2年元旦

冷暖房空調衛生設備から
上下水道設備・設計・施工



人のそばに、夢のそばに

山二建設工業株式会社

代表取締役社長 阿部 公雄

本社 / 〒010-0951 秋田市山王五丁目1-7

TEL 018-823-3148(代)

支店 / 横手 営業所 / 大曲・本荘・能代・湯上・男鹿

<http://www.yamanashi-s.co.jp>

謹賀新年

令和2年元旦

総合建設業



伊藤工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 満

本社 / 〒010-1221 秋田県秋田市雄和平沢字舟津田78番地1

☎018(886)2135(代)

謹賀新年

令和2年元旦

防水・塗装・塗床・改修工事全般



中外商工株式会社

秋田営業所 秋田市山王中島町2-8
TEL 018-863-2151 FAX 018-862-6994

本店 大阪市西区鞠本町1-9-15
TEL 06-6443-7321

<http://www.chugai-af.co.jp>

謹賀新年

令和2年元旦

総合建設業



株式会社

石川建設

代表取締役社長 石川 忠 則

事務所 / 秋田市榑山川口境18番12号

PC工場 / 秋田市榑山城南新町10番22号

〒010-0029 ☎018(832)7509(代)

謹賀新年

令和2年元旦

金属製建具工事 硝子工事



株式会社 小島商事

代表取締役 宮腰 徹

秋田市土崎港西四丁目1-32 TEL018(845)4652(代)

謹賀新年

令和2年元旦

技術と信頼でご奉仕する
左官工學



有限会社秋田サカングループ

代表取締役 東海林 作次

秋田市桜二丁目27-9 TEL 018(831)0017
FAX 018(835)9697

謹賀新年

令和2年元旦

塗 装 工 事

一般社団法人 日本塗装工業会会員

今 翌 社 佐々英塗装

代表取締役 佐々木 博

☎010-0948 秋田市川尻新川町7-24
TEL (018)823-0996
FAX (018)863-7587

謹賀新年

令和2年元旦

STATIONERY & PAPER

TOMIYA

株式会社 とみや
秋田営業所

〒010-0951 秋田市山王3-8-34 (山王ツインビル)
TEL 018-862-8002 FAX 018-865-2490
URL <http://www.kk-tomiya.co.jp>

謹賀新年

令和2年元旦

舗装・自然石アート舗装・土工工事
産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業・再生骨材各種販売



株式会社 浜田建設

本 社 秋田市浜田字長坂20
TEL (018)828-9082
FAX (018)828-4830
大仙営業所 大仙市土川字小杉山沢の内乱場9-2
TEL (0187)66-1186
FAX (0187)66-1158

謹賀新年

令和2年元旦

社会のニーズに対応し 都市空間を創造する

株式 会社 田村建設

解体事業部
KONO 産廃事業部



事業所 AMURA 秋田市土北字吉野字深田沢41
TEL (018) 839-3561 (代表)
FAX (018) 839-3560

URL <http://www.tamurakk.co.jp/>
E-mail: ahika@tamurakk.co.jp

謹賀新年

令和2年元旦



KAKUHARI
since 1962

木のぬくもり つたえたい

住宅資材総合商社 角 繁
株式会社

代表取締役 渡邊 光

本 社 秋田市中通二丁目1番22号
T(018)833-9461 F833-9464
事業センター 秋田市寺内字蛭根85-38
T(018)863-5151 F863-5156

※平成31年4月より新プレカット工場(秋田市御所野)が稼働開始しました

謹賀新年

令和2年元旦

シーリング防水工事
エポキシ樹脂注入工事
クリーニング工事



株式会社 三國

代表取締役 伊藤 真太郎

本社/〒010-0038 秋田市橋山城南新町23-17
☎018(884)6888 M018(884)6887

謹賀新年

令和2年元旦

電気・空調・給排水衛生設備設計施工

Yurtec 株式会社ユアテック

秋田営業所

執行役員秋田支社長 渡辺 政道
秋田営業所長 飯沢 徹

TEL 018-866-8500
FAX 018-824-6003

謹賀新年

令和2年元旦

有限 会社 小松塗装工芸社

代表取締役 小松 亨

本店 〒011-0943 秋田市土崎港南二丁目4-33
TEL 018-893-3799
FAX 018-893-3973

謹賀新年

令和2年元旦

MCA

MORE CREATIVE ASSOCIATION

株式会社 エムシーエー建築設計

代表取締役社長 小林 康彦

〒014-0068 秋田県大仙市大曲飯田町 1-8
TEL 0187-62-5480 / FAX 0187-66-1955

謹賀新年

令和2年元旦

有限会社 館設計

代表取締役 松塚 榮

〒014-0055
秋田県大仙市大曲あけぼの町14-25
TEL0187-63-4933 FAX0187-62-4717

謹賀新年

令和2年元旦

設計・監理 一級建築士事務所

有限会社
都市設計

代表取締役 泉谷 昭一

〒014-0064
秋田県大仙市小鷹高畑字中荒所60番47
TEL:0187-63-6355 FAX:0187-63-6395

謹賀新年

令和2年元旦



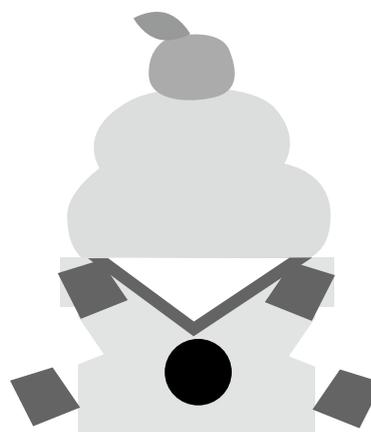
長崎建築設計事務所

代表取締役 菅原文雄

専務取締役 齋藤喜義

常務取締役 草薙 渉

〒014-0062
大仙市大曲上栄町13番60号
TEL0187-62-4320 FAX0187-62-0213



謹賀新年

令和2年元旦

横手建築士会

住所 〒019-1108 横手市山内土測字茂竹8-5 照井郁人建築設計事務所内
TEL 0182-53-2650 FAX 0182-53-3450

相談 会副理	役員 長事	大照 早鈴 佐々 北齋 高鈴 吉	嶋井 山石 木嶋 藤橋 木水	輝郁 政博 誠清 智	男人 美美 一美 裕敏 子郎	金 菊川 田佐 佐高	沢 池本 原藤 藤高	純 泰一 友光	治 美義 明明 方義	黒村 堀野 小岩 高	田川 川寺 村荒	稔久 一悦 行一	新運 忠宏	鈴木 大高 鈴	木葉 類橋 木	康和 良政	悦廣 誠章 道	高根 高石 佐	橋田 橋橋 藤	信克 留清	夫利 男忠 張
-----------	----------	---------------------------------	----------------------------	---------------------	----------------------------	---------------------	---------------------	---------------	---------------------	---------------------	----------------	----------------	----------	---------------	---------------	----------	---------------	---------------	---------------	----------	---------------

謹賀新年

令和2年元旦

有限会社
久米一級建築設計事務所

代表取締役 久米 征子

〒013-0035
秋田県横手市平和町6番3号
TEL (0182) 32-1347
FAX (0182) 32-1319
E-mail kume2@sea.plala.or.jp

謹賀新年

令和2年元旦

株式会社 近 建築設計事務所

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 時彦

〒019-0503
秋田県横手市十文字町西原一番町8番地
TEL (0182) 42-1388(代)
E-mail:konsekkel@h3.dlon.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦



伊藤建設工業株式会社

品質 | SO9001 認証企業
環境 | SO14001

本社 秋田県横手市大町5番19号
TEL 0182(32)3960(代)
秋田営業所 秋田市山王六丁目1番13号
山王プレスビル3階
TEL 018 (863) 5530

謹賀新年

令和2年元旦



YOKOTE 横手建設(株)

秋田県横手市前郷二番町7-13
Phone 0182(32)1697(代)

謹賀新年

令和2年元旦

21世紀の「街・環境・明日・未来」を創造する
品質 | SO9001 認証企業
環境 | SO14001



創和 SOWA CORPORATION
建設株式会社

本社 : 〒013-0036 秋田県横手市駅前町13番8号
TEL 0182(32)2680
FAX 0182(32)7500

謹賀新年

令和2年元旦

一級建築士事務所



有限会社 ミツイ設計

代表取締役 金沢 純治

〒013-0035 秋田県横手市平和町11-5
TEL 0182-33-1011
FAX 0182-38-8848
E-mail y-mitui@wonder.ocn.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦

有限会社
大嶋建築設計事務所

代表取締役 大嶋輝男

横浜市朝日が丘三丁目6-2
TEL 0182-33-1452
FAX 0182-33-2729
E-mail Oshima@ruby.ocm.ne.jp

謹賀新年

令和2年元旦

 株式会社 半田工務店
HANDA

本社：〒013-0043
横浜市安田字塚端9番地1
TEL0182-33-0300/FAX0182-33-0303
秋田営業所：〒010-0963
秋田市八橋大沼町1番3号
TEL018-863-8635/FAX018-863-8497

謹賀新年

令和2年元旦



信頼・創造
株式会社 大和組

秋田県横手市平和町10番30号
電話 0182-32-3434
FAX 0182-32-3499

謹賀新年

令和2年元旦

湯沢雄勝建築士会

〒012-0037 湯沢市字沖鶴194-12 シグマ企画加納設計内
TEL 0183-73-6797 FAX 0183-73-6837

相談役	佐藤清次	山脇一樹	高橋秀夫	今藤康博	佐藤重志
会長	佐藤隆志	伊藤一	川村榮一	佐藤全子	
副会長	山脇成吉	鈴木伸一	清水道子	由利靖	
理事	清水川茂	鈴木伸一	清水道子	由利靖	
	由利茂	鈴木伸一	清水道子	由利靖	
	加納大輔	佐々木修	加藤康	加納静佳	
	藤原大幸				
監事	高久和彦				

謹んで新春のお慶びを申し上げます

令和2年元旦



一般財団法人

秋田県建築住宅センター

理事長 高橋 行文 常務理事兼事務局長 植田 一 事務局次長兼課長 伊藤加久子

〒010-0001 秋田市中通二丁目3番8号(アトリオンビル5階)
TEL: 018(836)7851 FAX: 018(836)7852
ホームページ: <http://www.akjc.or.jp>
E-mail: info@akjc.or.jp

謹 賀 新 年

令和2年元旦

秋 田 地 区 電 気 技 術 協 議 会

〒011-0911 秋田市飯島字砂田26-9 奥羽電気設備(株)秋田営業所内
TEL: 018-845-9735 FAX: 018-846-8255 E-mail: ohwu-akita@wine.ocn.ne.jp

会 長	工 藤 一 則	奥羽電気設備(株)秋田営業所
副 会 長	伊 藤 俊 也	伊 藤 電 気 (株)
会 計 幹 事	山 岡 成 司 郎	サ ン 電 気 工 業 (株)
技術担当幹事	茂 木 久	(株)加島電気工事
企画担当幹事	大 友 正 敏	羽 後 電 設 工 業 (株)
総務担当幹事	仲野谷 崇	(有) 伸 和 電 工
監 事	藤 田 忠 彦	松 澤 電 気 工 事 (株)
監 事	時 田 祐 司	時 田 電 機 工 業 (株)

〔 正 会 員 〕

秋田電機建設(株)	千代田電気工業(株)
姉帯電気工業(株)	仁賀保電機工業(株)
(有)池田電機工事	(株)布谷電機
(株)石郷岡電気工業	(株)ヌノタニ
(株)大塚電機工業	本荘電気工業(株)
(株)柏谷電工	三菱マテリアル電子化成(株)
工藤電気工事(株)	日本海建設電気事業所
小林電設(株)	(株)ライトン

総合資格学院は「日本一」の合格実績!

No.1

2019年度 1級建築士 学科・設計製図試験 (12月19日発表)

全国 ストレート合格者占有率

2019年度 全国ストレート合格者の6割以上は当学院の当年度受講生!



全国ストレート合格者713名中/当学院当年度受講生432名 (2019年12月19日現在)

2019年度 1級建築士 設計製図試験 (12月19日発表)

全国 合格者占有率

2019年度 全国合格者のおよそ6割は当学院の当年度受講生!



全国合格者1,541名中/当学院当年度受講生880名 (2019年12月19日現在)

2019~2015年度 1級建築士 学科試験

全国 合格者占有率

直近5年間 全国合格者の2人に1人以上は当学院の受講生!



全国合格者合計24,436名中/当学院受講生12,228名 (2019年9月10日現在)

2018~2014年度 1級建築士 学科・設計製図試験

全国 ストレート合格者占有率

直近5年間 全国ストレート合格者の6割以上は当学院の受講生!

全国ストレート合格者 合計18,080名中/当学院受講生 5,004名 61.9% (2018年12月29日発表)

2018~2014年度 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者占有率

直近5年間 全国合格者のおよそ6割は当学院の受講生!

全国合格者 合計18,464名中/当学院受講生 10,427名 56.5% (2018年12月29日発表)

●2019年度1級建築士設計製図試験の合格実績は、2019年12月19日に発表された。2019年10月13日実務会場の1級建築士設計製図試験の試験結果に基づきます。※当年度のNo.1に関する数字は、公正取引委員会No.1表示に関する実態調査報告書に基づき記載しております。※進路開示合格者数・進路無ストレート合格者数は、「公開」建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科・設計製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、前年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。

2019年度 2級建築士 設計製図試験

当学院 当年度受講生 合格者数 **2,080名**

全国合格者の4割以上(占有率41.3%)は当学院の当年度受講生! 全国合格者数5,037名

当学院基準達成 当年度受講生 合格率 **80.2%**

9割出席・9割宿題提出・模擬試験2ランク達成 当年度受講生1,206名中/合格者967名 (2019年12月5日現在)

全国合格率 46.3% に対して



おかげさまで総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。

2019年度 設備設計1級建築士講習 修了考査

当学院 当年度受講生 修了率

当学院当年度受講生46名中/修了者39名(2019年12月18日現在)



全国修了率 67.6% に対して

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の授業提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

2019年度 建築設備士試験

第二次試験 当学院 基準達成当年度受講生合格率 **89.6%**

8割出席・8割宿題提出当年度受講生67名中/合格者60名 (2019年11月28日発表)

全国合格率 54.2% に対して

2019年度 1級建築施工管理技術検定 学科試験 当学院 基準達成当年度受講生合格率 **92.8%**

7割出席・7割宿題提出・模擬試験12正答率9割達成 当年度受講生332名中/合格者308名 (2019年7月22日発表)

全国合格率 42.7% に対して

2019年度 1級土木施工管理技術検定 学科試験 当学院 基準達成当年度受講生合格率 **85.2%**

8割出席・8割宿題提出当年度受講生88名中/合格者75名 (2019年9月20日発表)

全国合格率 54.7% に対して

2020年もさらに多くの受講生に「合格」を勝ち取っていただけるよう、講習システムを徹底強化します! 詳しくは秋田校まで

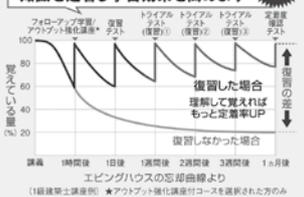
効率的な学習サイクルで 大幅な得点力アップを実現

合格サイクル+継続学習

各週ごとに設定された学習項目を、当学院が誇る最高品質の講義で基礎から正しく理解し、アフタフットレニングを繰り返すことで、学科試験突破に必要な得点力、さらには応用力まで養成します。

講義当日に完全理解 + アフタフットレニング 知識の定着 応用力の養成

合格サイクル+継続学習で 短期記憶を長期記憶に変え、 知識を定着し学習効果を高めます



当学院スタッフが学習状況を確認し、 効果的な学習方法をアドバイス!

合格ダイアリー

合格に必要なのは、日々の学習の継続。大半の資格スクールでは、自宅での学習は本人任せですが、当学院では毎日の学習管理もしっかりサポート。「合格ダイアリー」で日々の予定を確認し、効果的な学習方法をアドバイスします。



受講生一人ひとりの理解度に合わせた “真の個別指導” を実施

対面型指導

当学院は創立当初から、講師が直接教壇に立つて講義を行う、対面指導型の「インタラクティブ講義」にこだわり続けてきました。それは、受講生のみなさんがしっかり理解できているか、質問を見て確認できるからです。受講生一人ひとりに対する「真の個別指導」を実施しています。



秋田県建築士会会員様限定 特別割引あり! 詳しくは下記秋田校まで問い合わせください。

全国約90拠点 2019年10月OPEN 八戸教室 水沢校 福島校

建築士設計製図講座 講師募集 詳細・応募は右記QRコードから



スクールサイト www.shikaku.co.jp Facebook「総合資格」で検索! コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp 総合資格 検索



秋田県秋田市中通1-4-32 秋田センタービル1F
TEL.018-874-9081
FAX.018-874-9085

- 1級・2級 建築士
- 構造設計1級建築士
- 設備設計1級建築士
- 建築設備士
- 1級・2級 建築施工管理技士
- 1級・2級 土木施工管理技士
- 1級・2級 管工事施工管理技士
- 宅地建物取引士
- インテリアコーディネーター
- 賃貸不動産経営管理士

◆建築士定期講習◆

令和元年度の（一社）秋田県建築士会が開催した建築士定期講習の概要（中間）を報告いたします。

CPD：6単位

月日	会場	定員	受講者
7月17日（水）	秋田市文化会館	100	64
10月2日（水）	北秋田市交流センター	60	44 [*]
11月7日（木）	大仙市大曲交流センター	100	84
3月3日（火）	秋田市文化会館	100	未開催



大仙市大曲交流センター

※最低講習人数50名を下回ってしまいました。次年度受講対象の方で近辺の方は、北秋田市の講習に参加下さるようお願いいたします。

◆建築士試験◆

令和元年度の建築士試験の実受験数と合格人数 (名)

項目		一級	二級	木造
・学科の試験				
実受験者	(a)	99	138	1
合格者	(b)	19	43	0
合格率	(b) ÷ (a)	19.2%	31.2%	0%
(全国合格率)		22.8%	42.0%	56.1%
・設計製図の試験				
実受験者	(c)	34	78	0
内、製図から	(d)	15	35	0
最終合格者	(e)	9	24	0
合格率	(e) ÷ (c)	26.5%	30.7%	- %
(全国合格率)		- %	46.3%	59.1%
最終合格率	(e) ÷ {(a) + (d)}	7.9%	13.8%	0%
(全国最終合格率)		- %	22.2%	30.7%

令和元年度の二級建築士合格者は、24名で、昨年の37名を下回りました。また、木造建築士は合格者無し、一級建築士合格者は、9名（昨年7名）の方が合格されました。

《講評》

【優れている点】

- ・人口減少による過疎化等の問題に着目し、地域の活性化を図ろうとする提案力は評価したい。
- ・無人駅を拠点としたコミュニティの提案は実現性があり、「多目的交流センター（開かれた地区センター）」としての新たな層の利用が期待される。
- ・実現性としての難易度は高いが、学生と高齢者と多世代を対象としたことや15年後の経過分析等、「集い」の起点を発信する建築物となっている点を評価する。

【劣る点】

- ・作品中「街頭」との記載があるが、正しくは「街灯」である。
- ・イメージのパスはあるが、建築図等にて建築的要素の表現は必要である。
- ・気候風土を考慮した冬期利用の提案が含まれていればよかった。

尚、全国大会の結果は、(公社)日本建築士会連合会のホームページで公表されます。

◆令和元年 県内市町村が行う木造住宅耐震診断支援事業◆

事業開始3年目となりました木造住宅耐震診断支援事業は、今年度は18市町村が実施することとなりました。当会では14市町村との契約のもと、該当市町村の依頼により本会が診断可能な建築士会会員を選定し、申請者住居の診断を行う事業です。

【本会と契約済みの市町村】

- 県北：大館市、能代市、鹿角市、北秋田市、小坂町
- 県中央：秋田市、由利本荘市、男鹿市、井川町、五城目町、八郎潟町
- 県南：大仙市、横手市、美郷町

【診断を行う要件】 全てに該当する方

- ・(一社)秋田県建築士会の会員であること
 - ・建築士事務所に所属し、その建築士事務所が耐震診断業務を受託可能であること
 - ・県が認める講習会を受講し、秋田県木造住宅耐震診断技術者として登録していること（平成29年3月10日から登録開始）
- ※登録はこちらから、県HP：<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034>

【診断方法】

- ・「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」一般診断法による診断プログラム Wee2012
(一財)日本建築防災協会発行)による
- ・委託市町村が別に定める仕様書、及び当会耐震診断実施要領による。

当会では、木造住宅耐震診断の実施要領の策定及び報告書の様式など、本事業以外にも活用できるよう整備を行っております。

○今年度の受諾状況

12月20日現在、12市町村より34棟の診断を受託しております。

・小坂町 1戸	・鹿角市 1戸	・大館市 2戸
・北秋田市 2戸	・能代市 9戸	・男鹿市 3戸
・五城目町 1戸	・井川町 1戸	・秋田市 4戸
・由利本荘市 1戸	・大仙市 3戸	・横手市 5戸
・美郷町 1戸		

○診断登録者数 計52名

・鹿角 3名	・大館北秋田 7名	・能代山本 6名
・秋田中央 8名	・由利 3名	
・仙北 13名	・横手 11名	・湯沢雄勝 1名

◆手数料、料金等の変更について◆

1) 二級建築士等の登録手数料等（令和元年10月1日より）

【手数料】

二級建築士・木造建築士の登録申請手数料

新規登録申請による「免許証明書」の発行	19,300円（←19,200円）
事項変更申請による「免許証明書」の発行	5,900円（変更なし）
再交付申請による「免許証明書」の再発行	5,900円（変更なし）
免許証の書換えによる「免許証明書」の発行	5,900円（変更なし）
住所等の変更届の登録変更	無料

※併せて、12月1日より申請等の様式及び添付書類が変更となっております。詳しくは、HPにて確認ください。

※建築士法の改正により、3月1日から建築士の事務取扱要領が変更となります。HPでお知らせする予定です。

2) CPDの手数料（令和2年4月1日より）

◆手数料一覧◆（税込）

費用	内容	会員	非会員
① 初期登録費	サーバーに個人履歴を蓄積可能とする設定費。 【参加初年度のみ】	0円	1,100円
② データ登録・管理費	研修プログラムの出席データの登録およびそれら履歴を適正に管理するための費用。【毎年、必要】	550円	2,750円
③ CPDカード発行費	研修プログラムにおける出席データ登録のために必要なCPDカードの1枚あたりの作成費用。 【原則1人1枚発行】	770円	1,650円

④ CPD 実績証明書発行費	個人履歴に基づき、証明書の交付を受けるための1通あたりの費用。	550円	1,100円
⑤ 事後申請データ登録費	CPDプログラムの認定は、事前認定が原則ですが、特例として建築士会が認める場合に、個人の申告によりCPD単位を申請し、単位認定を受けるための費用。【1申請1プログラム当たりの費用】。	550円	1,650円
⑥ 建築CPD情報提供制度利用費	建築CPD情報提供制度（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）の活用を希望する場合にかかる費用。 【毎年1回必要であるが、秋田は初回のみ】	550円	550円

※これまでの手数料に10%を加算した額となります。

3) 図書等の頒布品の料金変更（令和元年10月1日より）

頒布品一覧

品名	価格（税込）	
	会員	非会員
表示板	270	
四会連合協定（ブルー） 建築設計・監理等業務委託契約書類	990	1,320
民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款 契約書関係書式（2部在中）（ベージュ）	旧777 新837	旧864 新930
四会連合協定（ピンク） 建築設計・監理業務委託契約書類（小規模向け）	880	1,100
小規模建築物・設計施工一括用 工事請負等契約約款 契約書関係書式（白）	809	900
民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約 書類（書式・約款）	522	580
改正建築士法による重要事項説明のポイント	1,287	1,430
バッジ（ネジ・ピン）	1,320	
液晶タイピン	1,100	

◆事務局体制の変更について◆

全国大会及び連合会東北ブロック会事務局担当等、今後増える業務に対応するため、伊藤加久子さんが事務局次長に就任いたしました。

・（一社）秋田県建築士会 事務局次長 伊藤加久子

※事務局長：植田、事務局員：長谷川は、これまでどおり変更はありません。



編集後記

由利建築士会 正木和美

令和2年新春号発刊にあたり昨年を振り返ると共に新たな年についての抱負を記してみたいと思います。

1年前、平成31年が明けました。そして5月、元号が平成から令和に変わりました。昭和に生まれ、平成は20代から40代を過ごし、そしてこれからの令和……。1日1日を今までと同様に過ごし、後に振り返った時にいい時代だったと思えるようにしたいと思います。

そして令和2年新春。

今年は来年に控えた全国大会の準備が昨年まで以上に本格的に始まります。実行委員会及び各分野の委員会の活動もより現実的になり、それに伴う時間的な制約が多くなると思います。全国から参加される建築士会会員様から満足していただけるよう努力したいと思います。

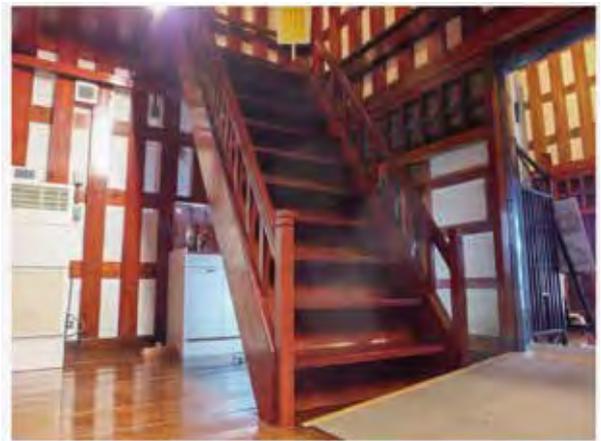
最後に今年の県建築士大会は由利大会となっております。由利支部をあげて皆様の参加をお待ちしておりますのでよろしくお願い致します。

(裏表紙から続く)

佐藤家の蔵は、明治21年(1888年)に建築されています。この蔵の特徴としては、入口から前室、本室という珍しい間取りになっている所でしょう。蔵内の木材については、柱・ひば、梁・檜、床・栗が使われていて、それぞれの材に漆が施され、保存状態もよく、明治21年の建築から130年たった現在でも漆の光沢が失われず、輝いています。



1階



階段



左官工程



2階



2階



2階

床面積：1階 168.01㎡ 51坪 (蔵部分 92.54㎡ 28坪)
2階 69.41㎡ 21坪 (蔵部分 69.41㎡ 21坪)
延床面積 237.42㎡ 72坪 (蔵合計 161.95㎡ 49坪)



第 62 回建築士会全国大会「北海道大会」 9月21日函館アリーナ



優良建物見学会 11月17日 五城目町 福祿寿酒造前

あきた建築士会ニュースNo.153 (2020年1月号)

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階(一財)秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和2年1月25日 印刷／秋田協同印刷株式会社